

平成28年度

教員免許状更新講習 報告書

秋田大学教員免許状更新講習推進センター

教員免許状更新講習推進センターの理念・目的・目標

教員免許状更新講習推進センターの理念

教員免許状更新講習を通じ、学校教員がその時々で求められる教員として必要な資質能力が確実に保持されるよう、必要な刷新を行うことにより、秋田県を中心として、公教育の改善・充実と、公教育に対する保護者や国民の信頼の確立に寄与する。

教員免許状更新講習推進センターの目的

1. 教員免許状更新講習を企画・立案する。
2. 教員免許状更新講習を実施する。
3. 教員免許状更新講習を点検・評価し、改善する。
4. 教員免許状更新講習に関わって関係諸機関と連携する。

教員免許状更新講習推進センターの目標

- A. 更新講習に対するニーズをふまえ、必要な量と質の講習を確保する。
- B. 受講者の利便性を考えた受講システムを構築し、改善を継続的に行う。
- C. 更新講習が円滑かつ安全に実施されるよう、施設設備、環境等を整備する。
- D. 更新講習に対する評価を踏まえて、FD等の活動を実施し、改善に努める。
- E. 秋田県教育委員会と適切に連携しながら更新講習の企画・実施にあたる。
- F. 県内の高等教育機関、研究機関等と適切に連携しながら更新講習の企画・実施にあたる。

目 次

・ はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
・ 平成28年度教員免許状更新講習推進センター担当者的議・・・・・・・・	2
【資料編】	
・ 平成28年度教員免許状更新講習推進センター業務記録・・・・・・・・	26
・ 平成28年度教員免許状更新講習関係委員会等名簿・・・・・・・・	27
・ 平成28年度教員免許状更新講習実施状況・・・・・・・・	29
・ 平成28年度教員免許状更新講習受講者評価結果まとめ・・・・・・・・	30
・ 平成28年度教員免許状更新講習受講者事後アンケート・・・・・・・・	31
・ 平成28年度教員免許状更新講習担当者事後アンケート・・・・・・・・	37
・ 平成28年度教員免許状更新講習一覧・・・・・・・・	40
・ 平成28年度教員免許状更新講習修了者・履修者調・・・・・・・・	62

はじめに

教員免許状更新講習は、ご存じのように 2007 年の教育職員免許法の改正に伴い、教員免許状に更新制が取り入れられたことによりスタートしました。2008 年度の夏に予備講習を行い、2009 年度から本格実施となり、今年で 9 年目を迎え、そろそろ受講が 2 回目となる方々が出てくる時期に近づいてきています。

しかし、今年度からは、教員免許状更新講習の総時間数は変わりませんが、新たに「選択必修領域」が設けられ、講習の全体構造が変わりました。これまでの必修領域の 12 時間が、必修領域 6 時間と選択必修領域 6 時間の二つになり、選択必修では受講者がそれぞれの関心や希望に応じて講習を選択できる範囲が広がりました。そのようなことから、本センターでは、選択必修として 29 講座を開設し、新たなニーズへ対応できるように努めました。一方で、昨年度来のアンケート調査の結果も踏まえ、必修領域の講習日の前後に、比較的大人数を対象にした選択必修領域の講座を 6 つ開設した点も全国的には特徴の一つでした。

改めてその数を記すと、必修科目 7 講座、選択必修科目 29 講座(1 講座廃止)、選択科目 107 講座(9 講座廃止)の講習を開設し、それぞれの受講者数は、必修 835 名、選択必修 833 名、選択 1787 名という実施状況でした。トータルでは前年度と同程度の受講者数であり、各開講科目も順調に運営できました。全国的に見ても、本センターで開講している講座数は多く、また、以下の資料にもありますように、受講者からも高い評価を得ているところです。これらは、ひとえに講座を担当されている先生方、あるいは事務方の皆様のご協力とご援助の賜物と、心より感謝申し上げます。

さらに、年度末には、「教育免許状更新講習推進センター 担当者会議」を開催し、受講した附属学校の教員からの報告も受けながら、新たに開始した選択必修だけでなく、必修及び選択の科目の実施状況を確認し合い、新たなローテーションに入る再来年度までを見通した改善に向けての意見交換・情報交換を行いました。

秋田大学のみならず、秋田県教員免許状更新講習推進協議会の委員ならびにその所属機関である秋田県教育庁、秋田県立大学、国際教養大学、日本赤十字秋田看護大学、聖霊女子短期大学、聖園学園短期大学の関係者の皆様のご協力に、感謝申し上げます。

最後になりましたが、私どもセンター教職員を信頼して下さり、運営上の問題に的確にご助言・ご支援をいただいた理事・副学長の四反田素幸先生に深く感謝申し上げます。



2017 年 3 月

秋田大学教員免許状更新講習推進センター長

浦野 弘

平成28年度 教員免許状更新講習推進センター 担当者会議

秋田大学教員免許状更新講習推進センターでは、各領域の担当講師から講習内容について報告してもらい、また、受講者からも感想をお話いただき、情報交換・意見交換をすることで、次年度以降の改善につなげることを目的に、担当者会議を開催した。

以下は、本会議の概要である。

日 時：平成29年3月8日（水）15:00～16:35

場 所：秋田大学 一般教育1号館 208会議室

出席者：平成28年度秋田大学教員免許状更新講習の担当講師等24名
（秋田大学以外の講師を含む）

司 会：石井照久副センター長

1. はじめに

浦野弘センター長より、以下のとおり挨拶があった。

- 1）平成28年度の講習は、滞りなく終了した。
- 2）平成28年度は、制度の変更があり、選択必修領域講習を初めて開設した。
- 3）受講者アンケートの結果は、概ね良好で、受講者の評価は高かったといえる。
- 4）しかし、中には、講習内容が難しかったなどの声もあり、課題がないわけではない。
- 5）本日は、各領域の担当講師に講習内容などを報告してもらい、さらに受講者のご意見もお聞かせいただき、意見交換・情報交換することで、次年度以降の改善につなげていきたい。



浦野弘センター長

2. 各領域担当講師からの報告（報告内容は別添資料のとおり）

1) 必修領域講習

「新必修領域「教育事情の動向」の実施報告」

大学院教育学研究科 原義彦先生

2) 選択必修領域講習

「H28 年度教員免許状更新講習（選択必修）振り返り」

大学院教育学研究科 古内一樹先生

3) 選択領域講習

「地学的思考・経験をどう楽しんでもらえるか？」

教育文化学部 篠原秀一先生

3. 受講者からの報告（報告内容は別添資料のとおり）

「教員免許状更新講習を受講して」

教育文化学部附属中学校 小松智子先生



原義彦先生



古内一樹先生



篠原秀一先生



小松智子先生

4. 意見交換

受講者からの報告の後、意見交換がなされた。主な意見は以下のとおり。

- 1) 受講者からの報告の中で、「現場で役に立つものを。」という意見が印象に残った。
 - 2) 来年度、高校の学習指導要領が大幅に変わる可能性があり、秋田大学の教員免許状更新講習が高校の先生の手助けができるよう、講習のあり方を考えたい。
 - 3) 今年度の選択必修講習では、ワークシートを提出してもらったが、来年度はワークシートを受講者に持ち帰ってもらう予定。
 - 4) 試験について、受講者は、穴埋め問題は正解・不正解がはっきりしており不安が残るので、何かを表現できる記述式の方がありがたい。
 - 5) 秋田県では交流人口を増やそうという試みをしているが、秋田大学の講習を受けたという方が全国にいるのではないかと。先着順をやめるなど、秋田大学の講習を全国展開するような仕組みづくりを検討できないか。
- 5) に対して、以下のような意見が挙がった。

- 5－1) 県外からの受講者は、実家が秋田で、帰省ついでに受講する人が多いようだ。
- 5－2) 県外に対し、秋田の学力がトップであることを売りにできないか。
- 5－3) 受講者のニーズを調査する必要があるのではないかと。
- 5－4) 先着順をやめると、受講できるかどうかはなかなか決まらず、受講者の利益に反するのではないかと。
- 5－5) 申し込みをシステムで行っているため、システム上、先着順をやめるのは難しい。
- 5－6) 県外枠については、今後検討が必要。



司会を担当した石井照久副センター長

6) 小学校の先生をターゲットにした講習を準備しているが、受講者は中学校の先生が多い。パック化するなど、工夫すべきところがあればご意見をいただきたい。

6) に対して、以下のような意見が挙がった。

6-1) 小学校に限定しても、制度上、教諭であれば申し込みできる。

6-2) 受講者は得意な教科に集まりがちなのでは。

6-3) 受講者が受けやすい時期に開設してはどうか。

6-4) 現在必修と選択必修をパック化しているが、これは必修 12 時間のときに連続していたほうが受けやすいとの声を反映したものなので、特定の教科を入れるのは難しいと思う。

6-5) 苦手な教科だからこそ受講してくれる先生もいる。

7) 秋田県では、いままで失効者がでていない。秋田大学では秋田県から失効者がでないように更新講習を開設していくべき。



会場の様子

5. 最後に

浦野センター長から、以下のとおり挨拶があった。

- 1) 募集するときには、講師が狙っていること（異校種の受講者を集めたい、専門外でもいい、など）を明確にシラバスに書くことが受講者にとってプラスになると思う。
- 2) 受講者のニーズを把握することが大事。
- 3) ワークショップが好評であるし、参加型が大事。
- 4) 秋田大学は全国的には選択領域講習の開設数が多く、多くの大学教員が参加してくれている。このことは大学教員が現場を知る機会にもなっていると思う。
- 5) 平成31年度には、受講者が一巡することもあり、本日の意見交換を踏まえ、講習を改善していければいいと思う。



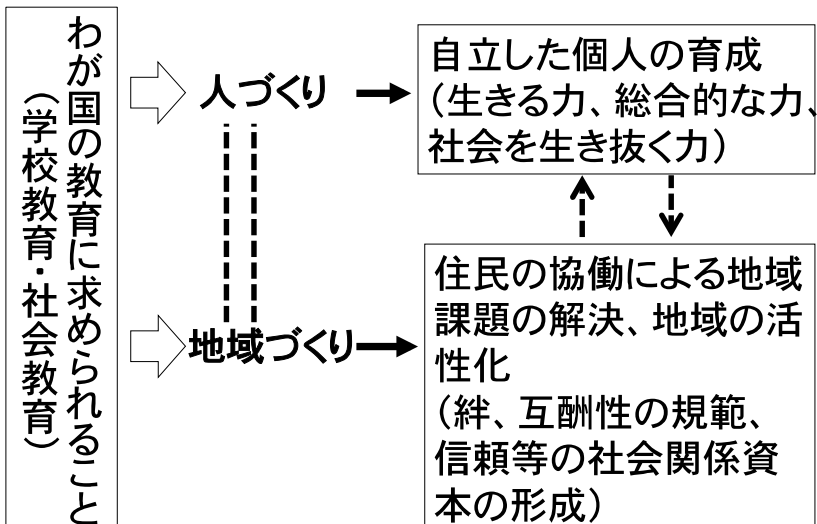
平成28年度 秋田大学教員免許状更新講習

必修科目
「教育事情の動向」
教職・教育・学校の動向とその省察

2016. 11. 12
秋田大学 原 義彦

1

はじめに～国内外の教育の方向性

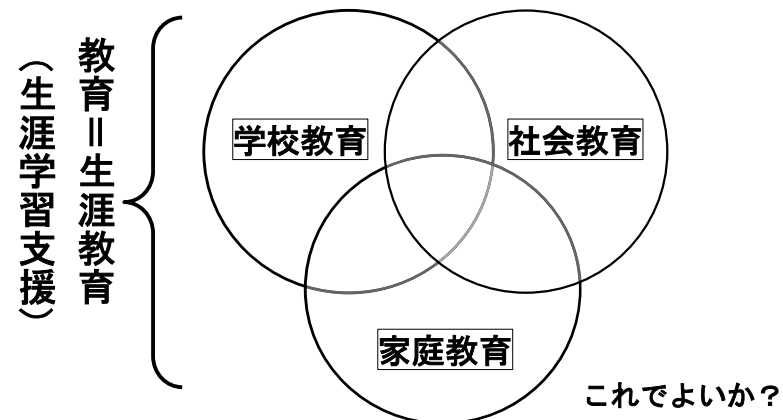


海外の教育改革

- グローバル化、知識基盤社会、高度情報化社会、共生社会（多様性）、社会的包摂…に応える教育へ
- これからの社会を生き抜くためにどのような資質・能力が必要か→キー・コンピテンシー（様々な課題に対応できる能力）の検討
- 学力保障
- 労働市場との連動
- 教育の質保証

3

教育機能 教育の三領域 (学校教育、家庭教育、社会教育の関係性)



4

Q 学校教育、社会教育、生涯学習？

1. 生涯学習は退職者や高齢者が行うものだ。
2. 学校で子どもたちが学ぶのは生涯学習である。
3. 生まれてから死ぬまでの教育は、家庭教育→学校教育→社会教育の順に行われる。
4. 学校教育とは、学校で行われる教育活動のことをいう。
5. 社会教育は学校以外で行われる教育のことである。
6. 秋田県生涯学習センターは、全国に先駆けて作られた。

5

1. 我が国の教育改革をめぐる動向

社会教育法、図書館法、博物館法

学校教育法、教員免許法、地教行法

- 教育基本法改正（2006. 12）、教育三法改正（2007. 6）、社会教育三法改正（2008. 6）
- 中教審答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について—知の循環型社会の構築を目指して」（2008. 2）
- 教育振興基本計画（2008. 7、第2期 2013. 7～）

6

- 中教審答申「道徳に係る教育課程の改善等について」（2014. 10）
- 中教審答申「チームとしての学校のあり方と今後の改善方策について」（2015. 12）、同「これからの学校教育を担う教育の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」（2015. 12）、同「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」（2015. 12）

7

- 中教審答申「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について」（2016. 5）

8

生涯学習と学校教育・家庭教育・社会教育 ～教育基本法(2006改正)から～

(生涯学習の理念)

第3条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

9

(学校教育)

第6条 法律に定める学校は、公の性質を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。

2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

10

(家庭教育)

第10条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

11

(社会教育)

第12条 個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

2 国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

12

（学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力）

第13条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力を努めるものとする。

13

～学校教育法（2007改正）から～

第30条 小学校における教育は、前条に規定する目的を実現するために必要な程度において第二十一条各号に掲げる目標を達成するように行われるものとする。

○2 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。⁹⁴

～社会教育法（2008改正）から～

（国及び地方公共団体の任務）

第3条3 国及び地方公共団体は、第1項の任務を行うに当たっては、社会教育が学校教育及び家庭教育との密接な関連性を有することにかんがみ、学校教育との連携の確保に努め、及び家庭教育の向上に資することとなるよう必要な配慮をするとともに、学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進に資することとなるよう努めるものとする。

15

（社会教育主事及び社会教育主事補の職務）

第9条の3

2 社会教育主事は、学校が社会教育関係団体、地域住民その他の関係者の協力を得て教育活動を行う場合には、その求めに応じて、必要な助言を行うことができる。

Cf 指導主事？

16

学校経営にかかわる具体的課題

- 「生きる力」の育成
 - 学力向上
 - 開かれた学校づくり（教育課程も含む）
 - 特色ある学校づくり
 - 地域との連携・協働による学校づくり（コミュニティ・スクールなど）
 - 学校評価
 - 安全、安心の学校づくり など
- ☆学校教育の方向性は？

17

チームとしての学校の在り方

社会に開かれた教育課程の実現
複雑化・多様化する課題への対応



カリキュラムマネジメント

学校マネジメント

1. 専門性に基づくチーム体制の構築
2. 学校マネジメント機能の強化
3. 職員一人一人が力を発揮できる環境の整備

18

学校と地域の連携・協働

連携・協働の姿

1. 地域とともにある学校
2. 子供も大人も学び合う教育体制の構築
3. 学校を核とした地域づくりの推進



- ◇ 地域学校協働本部(仮称)へ
- ◇ コミュニティ・スクールの推進

19

2. 現代学校の役割

◆学校にはどのような役割があるでしょうか？

20

- 基礎学力の習得 学力？
- 学び方の学習（自己学習力） 生涯学習機関として
- 基本的な生活習慣の習得（食事、あいさつ、身だしなみ、清掃 など）
- 社会規範、マナーの習得
- 人間関係の作り方の習得 など
- （大人、高齢者には）学習機会、学習成果活用場の提供
- 災害時の避難場所 など
- 現実社会の厳しさを知らせる（入学試験、競争社会、選別社会、無気力）
- 不登校、いじめ など

21

学校の存在意義

- 児童、生徒の確実な学力と健全かつ安全な成長を保証する学校

_____学校

- （ ）の基盤となる基礎基本、技術等の習得
- （ ）に貢献する学校

22

生涯学習施設としての学校

- 自己学習力の育成、学び方の学習（主に児童・生徒）
- 生涯学習の場として（地域住民）

23

雀の学校

作詞 清水かつら
作曲 弘田龍太郎

（一九二二）

チイチイパッパ チイパッパ
雀の学校の先生は
むちをふりふり チイパッパ
生徒の雀は 輪になって
お口をそろえて チイパッパ
まだまだいけない
チイパッパ
も一度いっしょに
チイパッパ
チイチイパッパ チイパッパ



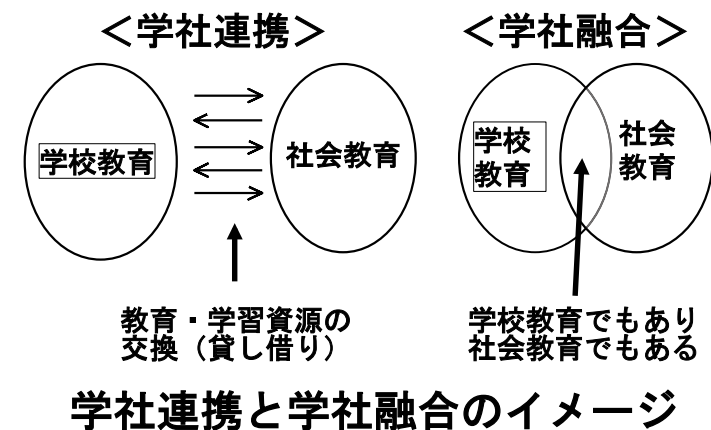
24

めだかの学校
 作詞 茶木 滋
 作曲 中田喜直
 (一九五二)



25

3. 学校と地域の連携・協働



26

学社連携・融合、協働の具体的活動

- 学校支援ボランティアとして協力
- 体験学習への協力
- 地域の指導者として授業に参画、協力
- 学校施設の開放
- 授業公開（参観授業）の実施
- 地域開放講座の実施
- 教育活動の共同実施
- 学校による児童・生徒の社会教育活動の評価

など

27

＜それぞれのメリット＞

- 学校側——地域の教育・学習資源を活用したより豊かな教育の展開
- 地域側——生涯学習の機会や学習成果活用のお会の拡充、地域の活性化

28

◆学校支援地域本部事業の展開

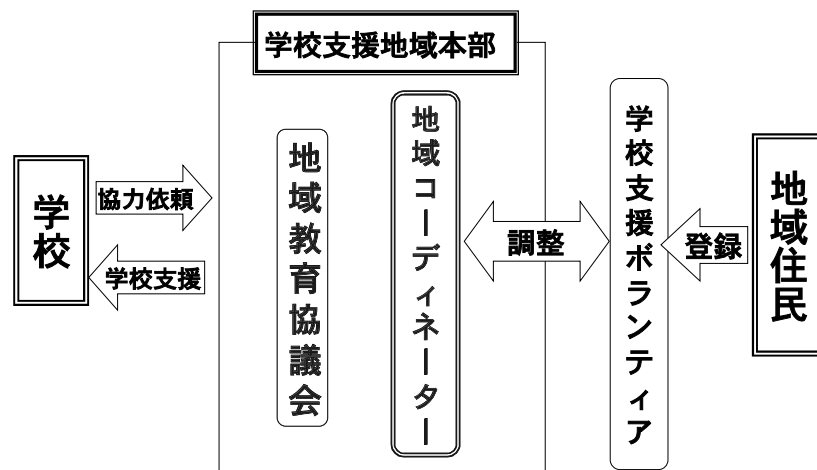
- 2008年度から始まった地域ぐるみの学校運営を支援する取り組み。今後は、地域学校協働本部に。
- 秋田県では、「学校・家庭・地域連携総合推進事業」の一環として実施（2016年度は、19市町村で71本部）
- 学校支援地域本部を小学校または中学校ごとに設置（2つ以上の学校で設置の場合もある）
- 本部内に学校長や教職員、PTA関係者、公民館長、自治会長、商工会議所等の関係者を中心とした地域教育協議会を設置。

29

- 地域教育協議会は、事業の方針決定、広報活動、人材バンクの作成、事後評価等を行う。
- 地域コーディネーター（退職教職員、PTA経験者など）を配置。
- 学校の授業補助、学校図書館の管理・運営、部活動の指導、環境整備など活動は多岐に及ぶ。

30

学校支援地域本部事業の仕組み



31

4. 学校、家庭、地域の連携・協働と子どもの学力

- 学力と人間形成
- 系統学習と問題解決学習
- 知識の理解・習得と活用力・応用力
- 国社数理英と実技・芸術・技能系科目
- 学校・教師の願い、子どもの願い、保護者の願い
- 狭い学力と広い学力

32

(1) 学校と地域との連携で学力は向上するか？

→ 地域との連携で身につく学力とは？

■ 学習やその内容への意欲、興味、関心

総合的な学習の時間～米作り体験を通して～
(宮崎市立学園木花台小5年：宮崎市教委H19実践事例集)

児童の感想

「……。僕はかかしに興味を持ったので、かかしの名前の由来やそれぞれの地方での呼び方などについて調べてみました。」

33

(つづき)

お米栽培の体験を通して豊かな心を育もう
(同市七野小学校4年：同H19実践事例集)

児童の感想

「米の育ち方を学習したので、5年生になって社会科の日本や世界の米作りの学習が楽しみです。日本や世界のいろいろな地域の米作りが同じ方法かを調べてみたいです。」

34

■実践や現実に基づいた知識の定着
(理解) と応用力

三角比

(宮崎県立本庄高校1年：同校H12研究公開実施要項)

本時のねらい (H12. 11. 17)

教科書で学んだ三角比の内容を手作りの計測器を用いての測量を用いた実習を(1)で体験した。本時では、測量士の指導で精密な機械を用い、正確な測量を体験させる。このことにより、三角比の学習が現在の実生活にも深く関わっていること認識させるとともに、他の分野も含め、数学の学習への興味を持たせる。

35

■対象の見方、考え方（思考力、洞察力、創造性）の育成

職場体験学習

(同市住吉中2年：宮崎市教委H19実践事例集)

生徒の感想

「「働く」ということは、それは本当にすごい、というかとても大変だと思いました。私の職場は一番大切なのが笑顔での対応やあいさつだと思いました。そして、足が痛くても、いつもお客様に見られている仕事（ベル係）なので、いつどうなるか全くわからないので、ちょっとでも気を抜いてはいけないことを知りました。」

36

(つづき)

そして、わかったことは、働いている人、それはとてもたいへん苦勞しています。でも生きていくためにはとても重要なことです。お互いが必死に支え合ってからこそ、それが家族なので、お父さんやお母さんは私たちのために、どんな苦勞をしているのか、どんな気持ちでいるのかを、今回の体験で少し学んだ気がしました。

37

■人間関係構築力、コミュニケーション能力の向上

佐土原の仲間を増やそう

(同市佐土原小5年：同H19実践事例集)

児童の感想

「地域の方からアドバイスをいただき、自分たちの調べたことだけでは足りないことわかりびっくりしました。それは、視覚障がい者の方に何かを伝える時は点字がよいと思っていましたが、点字よりも音声の方がよいということです。このアドバイスはこれからに生かしていきたいです。」

38

秋田県の児童・生徒の学力はなぜ高い（結果が続いている）か？

全国学力・学習状況調査（2016年度）の平均正答率

全国トップ
クラス
なぜ？

秋田県（順位：2016, 2015, 2014, 2009）

小学校	国語A（知識）	77.4	(3, 1, 1, 1)
	国語B（活用）	64.0	(1, 1, 1, 1)
	算数A（知識）	82.0	(3, 1, 1, 1)
	算数B（活用）	51.8	(2, 1, 1, 1)
中学校	国語A（知識）	79.1	(1, 1, 1, 1)
	国語B（活用）	72.4	(1, 1, 2, 2)
	算数A（知識）	66.6	(2, 2, 2, 2)
	算数B（活用）	48.4	(4, 2, 2, 2)

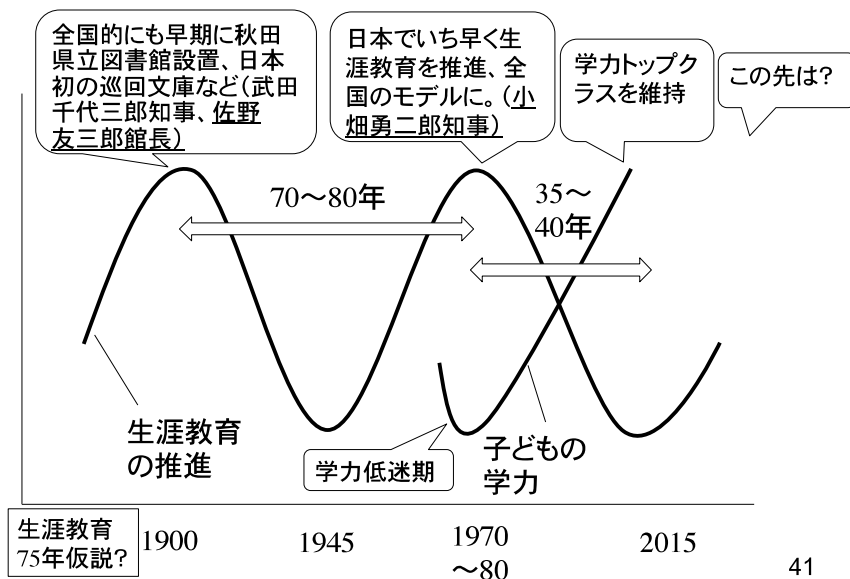
39

秋田県の学力が高くなっている要因は？

1. 子どもたちは熱心に落ち着いて学習している。
2. 補充的な学習および少人数指導・個別指導が充実している。
3. 話し合ったり、自分の考えを書いたりする学習が充実している。
4. 評価を生かした授業改善が進められている。
5. 家庭での学習習慣が付いている。
6. 学校を支援する施策や事業が効果を上げている。
7. 家庭や地域が学力の定着の支えとなっている。

（秋田県検証改善委員会『学校改善支援プラン』
2008. 3）
40

秋田県の生涯教育と子どもの学力の時間的關係



5. 学校、家庭、地域の協働が 目指すもの

- 子どもの学力向上、人間形成、人格形成
- 父母、保護者の教育力向上、子育て観の形成、人間形成、人格形成
- 学校や学校教育の活性化
- 教員の資質、教育内容・方法の向上

42

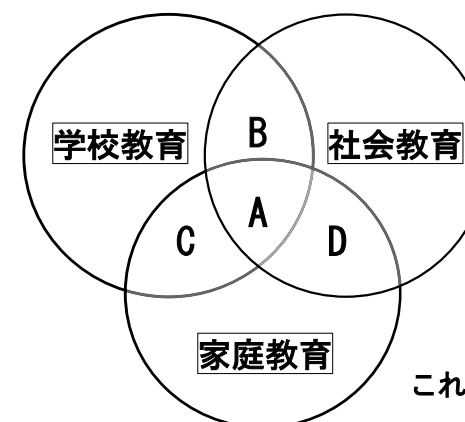
- 地域の指導者、学習支援者等の活躍の機会、知識・技術等の向上、人間形成、人格形成
- 地域社会からの学校教育への関心、関わり
- 三者の信頼関係の構築、地域のまとまり、地域づくり



「学校支援地域本部事業／地域学校協働本部」のねらいが類似

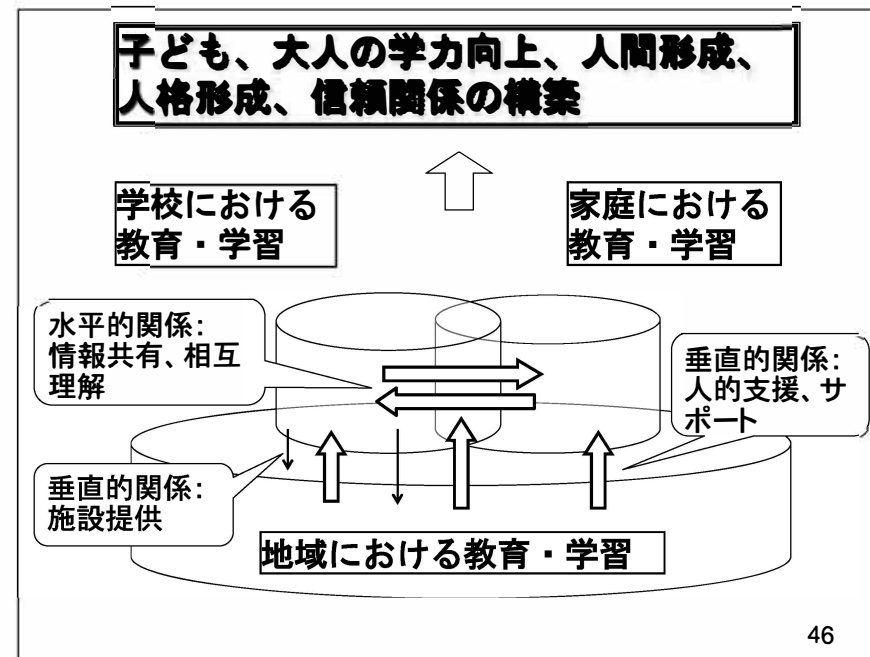
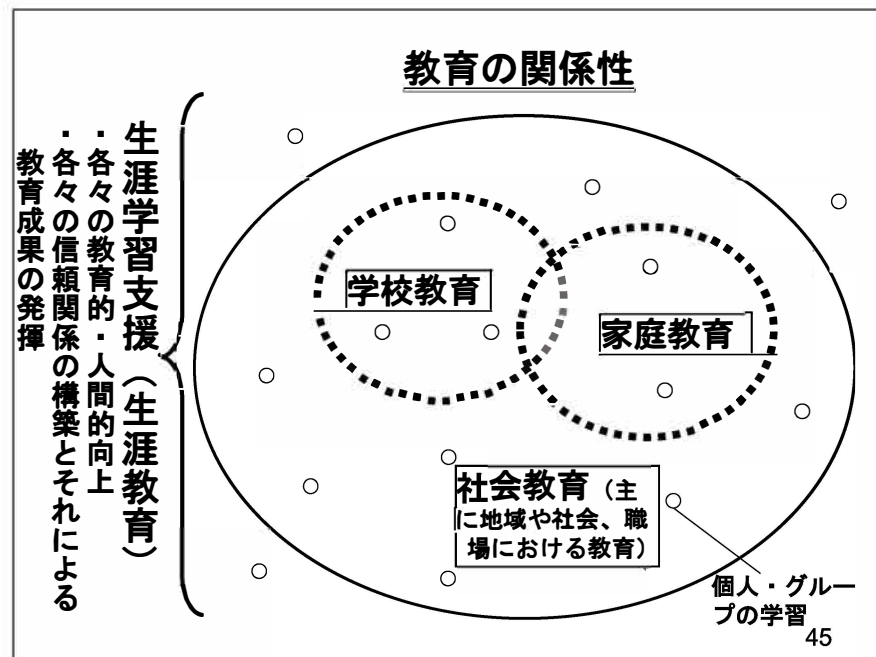
43

教育の三領域 (学校教育、家庭教育、地域教育の関係性)



これでよいか?

44



金糸雀 (かなりや)

作詞 西条八十

作曲 成田為三

(一九一九)

47

2017. 3. 08

H 2 8 年度教員免許状更新講習（選択必修）振り返り
教育学研究科 古内一樹

- 1 実施内容 選択必修
 - ① 学校現場に即した実践と理論Ⅰ（幼・小教員対象）
 - ② 学校現場に即した実践と理論Ⅱ（小学校教員対象）
 - ③ 学校現場に即した実践と理論Ⅲ（中・高教員対象）
 - * 「A：学習指導要領の改訂の動向等」と「B：学校を巡る 近年の状況の変化」を午前と午後に各実施

- 2 担当者 実務家教員 8 名
(神居 隆、田仲誠祐、関谷美佳子、千葉圭子、廣嶋 徹、古内一樹、茂木達彦、山岡正典)

- 3 実施日

6. 19（日）	大仙市（農業科学館）	①（40）	③（20）
7. 10（日）	秋田市（秋田大学）	②（70）	③（50）
7. 29（金）	横手市（ホテル）	①（70）	③（60）
8. 03（水）	大館市（ホテル）	①（70）	③（50）
8. 16（火）	秋田市（秋田大学）	②（70）	③（50）
11. 13（日）	秋田市（秋田大学）	①（70）	③（50）

- 4 実施状況と評価
 - ・ 講義後ワークショップ＋発表を実施し、最後に講師がまとめた。
 - ・ 資料は冊子 1 冊にまとめ共通として配布し、担当者間で十分な時間を掛けて事前打合せを行い、事後の検証も実施した。
 - ・ 幼稚園教諭に対して配慮した。（特に①で）
 - ・ 最初の時期、講義に予想以上に時間がかかり、ワークショップが短縮されたり、発表の時間が十分とれなかったりした。
 - ・ 受講者の反応は概ね良かった。特に、ワークショップにおいて他校種間で意見交換ができたことの評価が高かった。

- 5 課 題
 - ① ワークシートは受講後回収したが、その日の講義・演習内容を確認させるためには、持ち帰らせた方が良かった。
 - ② 追加資料を冊子とは別に印刷したが、資料が煩雑になるため、それも冊子にまとめるべきであった。（次年度はまとめる方向）
 - ③ 「必修」の内容との確認、調整が必要であった。

2016.6.21

教員免許状更新講習業務 検証

◆A 学習指導要領の改訂の動向等

<中・高コース>

- ① 前半50分、(休憩15分) 後半20分としたが、時間がおしてしまい、グループ協議15分、発表15分となってしまった。(→空欄減らす)
- ② グループ協議の前に、個人で考える時間を設定すべし。(5分設定した)
- ③ グループ協議の後の発表時間が不足気味であった。(グループが多い場合は2～3グループを適宜、指名して発表させても良い)
- ④ 受講者の評価と試験問題の解答状況は今のところ不明。(状況によっては、今後さらに改善していく)

<幼・小コース>

- ① 休憩は10分で十分。
- ② 記入に時間がかかってしまい、予定した講義内容の時間が少なくなった。
- ③ グループ協議の時間の確保が難しい。
- ④ ALの内容は、幼・保には難しいかもしれない。

◆B 学校を巡る近年の状況の変化

<中・高コース>

- ① 講義の時間が予定よりオーバーした。
- ② グループ協議と発表時間が不足気味であった。

<幼・小コース>

- ① グループ協議がオーバーし(30→35分)、発表15分となった。

【改善点】

- ・休憩は10分でよい。
- ・ワークシートは回収するが、次年度は回収しないこととする。
- ・グループ分けに時間がかかる。最初から座席指定とすることも1案。
- ・講義の時間がおすことから、ポイントを絞ること。(特にB)

(20170308；教員免許状更新講習担当者会議資料；篠原)

「地理学的な調べ方・考え方・まとめ方を学ぶ」(2016 年度教員免許更新講習；篠原)

第 1 日目：午前：①「生産関係」の地理学（『君たちはどう生きるか』を読む）

午後：②「風土産業」の考え方（三澤勝衛『風土産業』を読む）

③ 地形図・空中写真・地理写真 活用概説（絵本なども紹介）

☆ 野外観察実習準備

第 2 日目：午前：④「生活背景」の地理学（『江分利満氏の優雅な生活』を読む）

⑤「地域イメージ」の地理学

（「軽井沢」・「つくば」地域イメージの研究；

地域ブランド水産物等の研究紹介）

午後：☆ 野外観察実習（芝野新田・四ツ小屋・御所野）

<四ツ小屋駅 12:50 集合>

第 3 日目：午前：⑥「村落空間の商品化」の地理学

午後：☆「地理」学習上の工夫・問題点に関する討論・議論

◎ 試験（以下を参照；16 時までに提出）

「地理学的な調べ方・考え方・まとめ方を学ぶ」試験（2016 年度；篠原）

1. 講習内容を参考に、2 種類の授業内容案を別紙に書き出し、まとめてください。
対象学年・生徒、授業の題目、内容構成、時間数、工夫点・注意点、使用資料
（現物含む）、実施時期等を含めて書かれますように。
2. 講習内容を参考に、自らの経験も踏まえ、「地理」学習上の工夫・難点・可能性
について論述してください。

秋田大学免許状更新講習 を受講して

秋田大学教育文化学部附属中学校
小松 智子

1

はじめに

2

受講生の本音

「忙しいのに・・・」「面倒だな」という
気持ちがやはり大きい。



どうせやるなら

- より充実した講習！！
- タイムリーな講習！！

3

ありがたかったこと

- **さまざまな講習**
→ 興味・関心の沿った講習を
受けることができる
- **さまざまな日時と受講会場**
→ 好きな時間・地元で受ける
ことができる

4

今何が求められているか？

◎教師という仕事

○お菓子職人

いつでも研究し、今求められている味を追究

変わらぬ味をお客様にお届け

この機会に勉強していきたい

5

教科について専門的に学べる
選択領域

理科

- ・教材研究
- ・写真でのデータ保存
- ・わからないところを質問できる雰囲気

即戦力に



講習内容への
興味・関心が高い

大学の先生方の教養
私たちの知りたい情報

合致

6

豊富な資料と情報交換の場
必修・選択必修領域

- ・資料は紙で説明もあり
(全部、OR 一部)
- ・様々な校種での情報交換



発達段階に応じてさらに話し合いが充実するのでは

7

即、現場で使える・意識できる

- ・新学習指導要領
- ・キャリア教育
- ・アクティブラーニング…など

- ・現状の説明とこれが具体的に
- ・何をしていくべきか

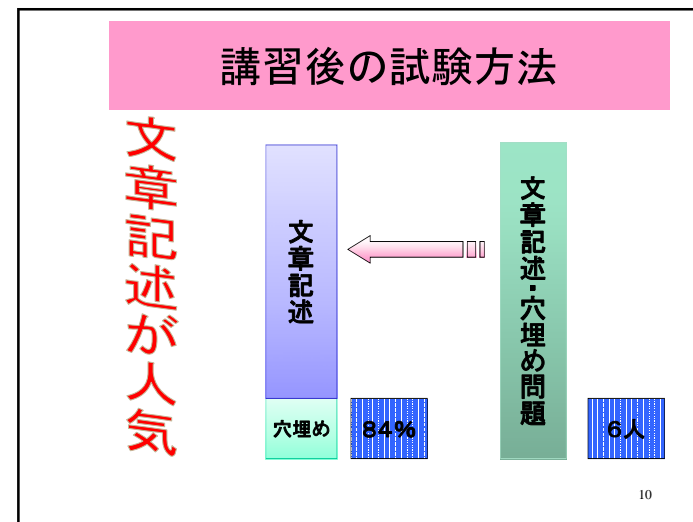
最新の
実践例

講習内容への
興味・関心が高まる

大学・教育委員会などの機関と
提携？

8

様々な校種での話し合い		
	A 受講番号	B 発達段階
幼稚園	様々な発達段階の問題や課題、共通点、良さがわかる。	例えば幼稚園と小学校、中学校と高等学校での話し合い → より現場に即した形での話し合いになるのでは
小学校		
中学校		
高等学校		
それぞれメリット・デメリットがある		



講習後の試験方法

文章記述問題

- 自分が大切に思っていること、こだわっているところについて、思いも記述できる。
- これまでの講習内容をまとめることで、改めて内容を確認できる。
- 正答・誤答の解答ではないため、暗記などで答えることではないため。

穴埋め問題

- 知識の問題であれば、答える方も簡単である。
- 間違ったことを書いてはいけないという緊張感があり不安が大きい。

終わりに

ありがとうございました。

平成 2 8 年度教員免許状更新講習

【資料編】

- ・ 平成 2 8 年度教員免許状更新講習推進センター業務記録
- ・ 平成 2 8 年度教員免許状更新講習関係委員会等名簿
- ・ 平成 2 8 年度教員免許状更新講習実施状況
- ・ 平成 2 8 年度教員免許状更新講習受講者評価結果まとめ
- ・ 平成 2 8 年度教員免許状更新講習受講者事後アンケート
- ・ 平成 2 8 年度教員免許状更新講習担当者事後アンケート
- ・ 平成 2 8 年度教員免許状更新講習一覧
- ・ 平成 2 8 年度教員免許状更新講習修了者・履修者調

平成28年度教員免許状更新講習推進センター業務記録

月 日	内 容
4月 20日	第1回運営委員会，第1回企画部門会議
5月 6日	【第1次募集】受講者申込受付（～5月10日）
5月 20日	【第2次募集】受講者申込受付（～各講習開設日の4週間前まで）
5月 31日	秋田県教員免許状更新講習推進協議会
6月 4日	平成28年度講習実施（～12月28日）
11月 2日	秋田県教育委員会実務連絡会
11月 9日	第2回運営委員会，第2回企画部門会議
1月 16日	平成29年度シラバス様式決定・教員へ作成依頼
2月 3日	第3回運営委員会，第3回企画部門会議
2月 10日	平成28年度開設講習について，文部科学大臣へ申請
3月 8日	教員免許状更新講習担当者会議
3月 21日	平成29年度開設講習について，文部科学大臣より認定
3月	「平成28年度教員免許状更新講習」報告書作成

平成 28 年度 教員免許状更新講習関係委員会等名簿

(1) 教員免許状更新講習推進センター運営委員会

氏 名	職 名	
浦 野 弘	教員免許状更新講習推進センター	センター長
石 井 照 久	同上	副センター長
今 井 忠 男	国際資源学部	教授
佐 藤 修 司	教育学研究科	教授
川 村 教 一	教育文化学部	教授
阿 部 寛	医学系研究科	教授
篠 原 ひとみ	同上	教授
河 上 肇	理工学研究科	教授
西 山 亨	同上	准教授
鈴 木 翔	同上（平成 28 年 5 月 1 日から）	助教

(2) 教員免許状更新講習推進センター企画部門

氏 名	職 名	
浦 野 弘	教員免許状更新講習推進センター	センター長
石 井 照 久	同上	副センター長
今 井 忠 男	国際資源学部	教授
原 義 彦	教育学研究科	教授
石 井 宏 一	教育文化学部	准教授
和 泉 浩	同上	教授
山 名 裕 子	同上	准教授
篠 原 ひとみ	医学系研究科	教授
西 山 亨	理工学研究科	准教授

(3) 秋田県教員免許状更新講習推進協議会

氏 名	職 名	
四反田 素 幸	秋田大学	理事（教育・学生・入試担当）
小 林 淳 一	秋田県立大学	理事（兼）副学長
佐 藤 健 公	国際教養大学	教職課程代表 教授
宮 堀 真 澄	日本赤十字秋田看護大学	看護学部長
横 溝 眞 理	聖霊女子短期大学	教務部長
小笠原 京 子	聖園学園短期大学	教授
鎌 田 信	秋田県教育庁	教育次長
浦 野 弘	秋田大学	教員免許状更新講習推進センター長

(4) 教員免許状更新講習事務室

氏 名	職 名	
眞井田 善 彰	教員免許状更新講習事務室	事務室長
塚 田 有 希	同上	課員
米 塚 清	同上	課員
大 山 洋 子	同上	課員

平成28年度教員免許状更新講習実施状況

【開設状況】

	開設講座数	開講講座数	廃止講座数
必修	7	7	0
選択必修	29	28	1
選択	107	98	9
計	143	133	10

【受講状況】

	定員数	受講者数	履修認定者数
必修	1040	835	835
選択必修	1154	833	833
選択	2380	1787	1787
計	4574	3455	3455

<必修領域・必修とまとめておこなう選択必修領域>

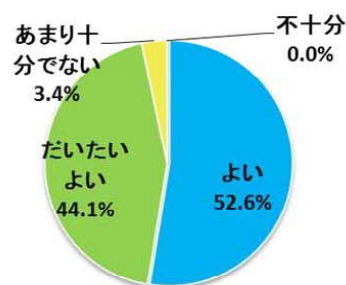
【実施日程】

- 第1回：平成28年6月18日（土）、6月19日（日）大仙会場
- 第2回：平成28年7月9日（土）、7月10日（土）秋田大学会場
- 第3回：平成28年7月28日（木）、7月29日（金）横手会場
- 第4回：平成28年8月2日（火）、8月3日（水）大館会場
- 第5回：平成28年8月16日（火）、8月17日（水）秋田大学会場
- 第6回：平成28年9月17日（土）※必修領域のみ 秋田大学会場
- 第7回：平成28年11月12日（土）、11月13日（日）秋田大学会場

平成 28 年度 受講者評価結果まとめ

必修

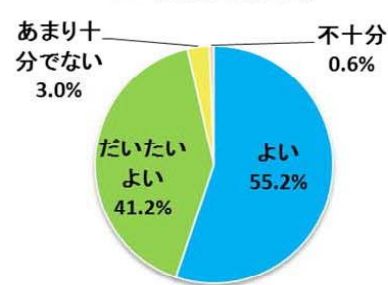
I. 講習の内容方法(必修)



II. 知識技能修得成果(必修)

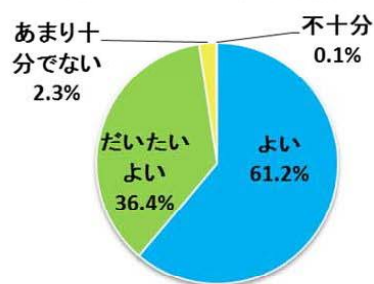


III. 運営面(必修)

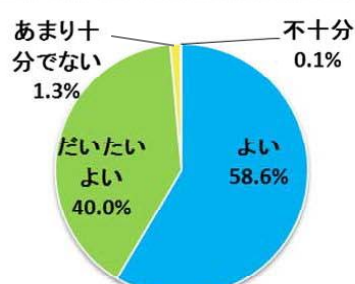


選択必修

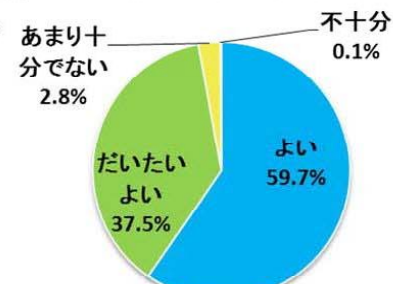
I. 講習の内容方法(選択必修)



II. 知識技能修得成果(選択必修)



III. 運営面(選択必修)



選択

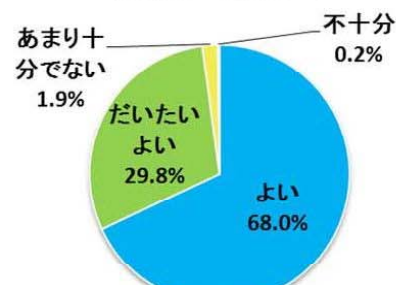
I. 講習の内容方法(選択)



II. 知識技能修得成果(選択)



III. 運営面(選択)



平成28年度教員免許状更新講習受講者事後アンケート

○自由記述（講習内容、運営面等）

1. パワーポイントを使用してではなく、黒板での授業は自分の知識習得には最適でした。（小学校：学校栄養職員）
2. 講義を進める上で、レジュメが欲しかった。（高校）
3. 講義とフィールドワークの2本立て、よかったです。（特支）
4. 実際に観察・実験しながらの講習は、実感を伴ったものであり、有意義なものになった。（小学校）
5. 専門用語（化学記号等）が難しいと感じた。しかし、その分、専門的な知識に触れる機会となりいい経験となった。（認定こども園）
6. スクリーンでの講習なので仕方ないのかもしれないが、初めから終わりまで薄暗い中でメモを取り、話をきいて、は少々しんどいものがあった（認定こども園）
7. 指導案を製作する時に、1台でもいいのでネット接続環境のあるパソコンを準備してほしいかった。（中学校）
8. テキスト購入については他の方法もあればありがたかったです。「当日購入していただきます」のほうが確実かと。（中学校）
9. 映像がとても良く、動画なども要所要所にあり、分かりやすかったです。（小学校）
10. 様々な校種の先生方とのディスカッションは参考となる事が多かった。（高校）
11. オリエンテーションで試験の内容等にもふれていただいたので安心して受講できました。（小学校）
12. 必要な資料や昼食場所等についての連絡を事前にしていただければありがたかった。（小学校）
13. トイレ休憩を入れるか、小休憩があると良い。（小学校：養護）
14. 資料など、読む時間を与えていただき、ゆっくりと分かりやすく進めてくれましたので、良かった。（保育園）
15. 少人数での講習だったこともあり、和やかな雰囲気の中で進められた。また講師との距離も近く、質問がしやすくわかりやすかった。（中学校）
16. 校内や地域の研修会では得られない専門知識を得ることができました。（中学校）
17. 教員免許状更新講習なので、できればもう少し教材として授業で指導するポイントを講義していただければより一層自身の資質の向上につながったのではないかと、思います。（中学校）
18. 実際の教育現場でどのように活用していける講習なのか少々不明確な点がある講習であった。（高校）
19. 可能であれば、各領域毎に実技の講習（とくにダンス、武道）があると助かります。（中学校）
20. 申し込んだときの内容の印象とはずい分違っていたが、参考になる内容だった。（小学校）
21. 後ろの方まで声が届かない部分があったのでマイクを使っていきたい。（保育園）
22. 比較的参加しやすい時期（6月）の講義を設定していただき、ありがとうございました。

(高校)

23. 様々な関係で土日開催になっているのだと思うが、できれば夏休み期間中の平日開催である大変ありがたいと思う。(特支：養護教諭)
24. お盆中の開催は家庭がある身ではつらい。8月15, 16日はさけてほしい。(教えてくださる講師の先生も大変かと思います。)(中学校：養護)
25. 幼・保は今時期(9月中旬)は運動会などもある時期なので、他の時期にずらした方がいいと感じた。(幼稚園)
26. 中学校では夏休みに東北・全国の大会等があり、夏には日程が合わず受講できませんでした。同じ講習を冬休みにも開講してくださって大変ありがたかったです。(中学校)
27. 1日いっぱいの講習で疲れるが、半日ずつに分けると期間が長くなるので、運営面についてはこのままでいいと思う。(小学校：栄養)
28. 選択講習なのに幼稚園教諭が選びやすい講習が少なかったように思います。(幼稚園)
29. 技・家の講座が少なく残念であったが、本講習があり、ありがたかった。(中学校)
30. 講習によって10:00~16:45, 9:30~16:50, 9:00~16:00など講習時間が異なるので統一してほしい。(高校)
31. 遠方から来ている為、開始時間や終了時間等をもう少し配慮していただければと思います。(保育園)
32. 講習を受けるまでの手続きが面倒。自然災害があった場合はツイッターで知らせるというのも、全員がやっているわけではないのでその方法で良いのか…と思う。(保育園)
33. インターネットで、申し込めない人の分まで手続きをやりましたが、そういった人への対応はないのでしょうか。(幼稚園)
34. 免許状更新講習を申し込む際のシステム(PC入力)を、もっと改善できないか検討してほしいです。私はある程度、PCは使えますが、それでもサーバーが途中で止まり12分以上かかりました。数分~数十分の差でとりたい講習が取れないこともあるので、検討願います。(小学校：養護)
35. 講習の申し込みが確定してから、料金の支払いを完了させるまでの時間が短い。(高校)
36. 受講料に振込み手数料が発生するのはちょっとくやしいです。(高校)
37. 秋田大学の講習申し込みのシステムは、大変スムーズで分かりやすいものであったと、(個人的には)感じました。(高校)
38. 構内入口の表示があってわかり易かったが、校舎内に入ってから表示がわかりづらく、部屋を探すのに困った。：秋大会場(幼稚園)
39. 県北で受講できる講習を増やすか、定員を増やしてほしいです。(小学校)
40. 大学の教室の空調は少々暑かったです…。(小学校)
41. 会場はやや寒く感じることもあったが、適宜調節してもらえてよかった。：秋大会場(特支)
42. 駐車場が使えて助かりました。：秋大会場(高校)
43. わかりやすく校内の案内図が示されて有り、受付を終えたり、駐車場に向かうことができました。また(受付の)学生が良い対応をしてくれよいスタートができました。：秋大会場(保育園)
44. 教員免許状更新講習制の見直し(廃止)を求めます。多額の国費をかけ、時間と受講料をかけてもそれだけの効果が現場に上がるかというと、×である。教員の負担が増すだけ。(小学校)

45. 仕事をしながらの講習ですので、休日がなくなるといことが出てきます。もっと簡単に受けることができるようにしていただけるようお願いします。(認定こども園)
46. 更新講習にかかる費用が高い。園や国からの補助があったら良い。(認可保育所)
47. 県教委との連携はどこまで可能でしょうか。10年研の講座が免許状新講習講座に振りがえられたりは、法制上やはりできないのでしょうか。(高校)
48. 講習を受けるに当たってのコスト(時間、労力、費用等)を考えると、それに見合うペイ(成果)があったかと問われれば疑問です。教員の資質向上よりも教員の専門職としての地位向上が目的であるとすれば、もっと違うやり方があるように思います。(高校)
49. 平日に、職免として対応できるようなシステムにして欲しい。(その他)
50. 座学の講習形式だけで丸一日はいかがなものか。大学の授業改革が叫ばれAL(アクティブラーニング)も導入されようとしている今、教員免許状更新講習も見直してみるべきではないだろうか。(中学校)
51. 教員免許状更新という義務的な研修ばかりではなく、もっと研修の機会が設けられれば教師としての幅も広がりそうだと考える。残念ながら学校現場に戻ると紹介される研修に参加できる余裕のないくらい多忙であり、本当に研修の時間が確保できる仕事であってほしいと感じている。(中学校)
52. 日々忙し中の講習、試験について、内容的に改めて認識すべきものでありがたい反面、あえてそれを受けた後の試験という形で可否を付けることに疑問を感じる。(保育園)
53. 講座のバラエティは少なくとも、受講期間がコンパクトにまとまる方が個人的には望ましいです。G・W、夏季前後半、冬季などのようにまとめて受けられる機会が設けられると助かります。(高校)
54. 試験の解答の確認(答え合わせ)もしてほしいと思いました。(高校:養護)
55. 現場に戻り、日々の授業改善、教材開発のために、より一層生徒に還元できるような講座を希望します。(高校)
56. 幼小連携の必要性を、日ごろから感じていましたので、午前のワークショップで、幼・保の先生方と情報交換をしたのは有意義でありました。(小学校)【選択必修:パック】
57. 私は教員ではないので、指導要領改訂などの講義はとても難しく感じましたが、後半のグループワークで各校の現状や課題の問題でつまずいたり、課題が共通していたりと、共通性のものが見出せたのが、今回講習に参加できた大きな成果かと実感しました。(小学校:学校栄養職員)【選択必修:パック】
58. 2日間のパッケージとなっている講習で、アクティブラーニングが重複するところがあった。別な面から見られてよかったが、別なことの内容でもよかった(小学校)【選択必修:パック】
59. 講義形式ではなかったことで、自分で活動し、考える場面が多く、実りのあるものになったように思います。(中学校)【選択必修】
60. 時間が足りなかったせいか、内容の説明をあまりにも省略しすぎて、レジメにないスクリーンの画面も、パッと映しただけで、最後まで読めないこと(5~10秒程度しか)が多く非常にわかりにくかったです(小学校)【選択必修:パック】
61. 午前・午後の講習とも計画的に進められ、内容についても連携が取れていて、関連付けて考えることができ、分かりやすかった。(小学校)【選択必修:パック】
62. スライドの映像や資料で文字が読みづらいものがあり残念だった。(中学校)【選択必修

：パック】

63. ご講義くださる先生方のお名前が資料にもあったらと思います。(小学校)【選択必修：パック】

64. 沢山の資料，説明については，できればもっと時間をかけて行われると，心のゆとりがもてます。(高校)【選択必修：パック】

65. 論述式に慣れていないので，うまく書くことができなかった。(認可保育所)【選択必修：パック】

66. テストに関しては論述と穴埋めがバランスよく出題してほしい。(高校)【選択必修：パック】

67. 内容が難しく，大変でした。幼には聞きなれない言葉がたくさんあり，グループ協議で学校の先生方から話を聞くことで理解できました。(認定こども園)【選択必修：パック】

68. 今の教育の状況を整理できてよかった。(小学校)【選択必修：パック】

69. 講義の時間が短いので事前に学修してきてほしい内容があれば，事前課題などのようなもので学習してきてもらうなどがあっても良いのではないかと思います。(高校)【選択必修：パック】

70. 時間の配分や体調にも配慮をいただき，ありがたかったです。(小学校)【選択必修】

71. 参加する職種をみて，内容変更等の配慮があり，感謝します。(保育園)【選択必修】

72. スクリーンや机上の照度も目を酷使しているものとしては難儀な点がありました。教室環境等の配慮をさせていただきたいと思います。(暗幕をしてスクリーンを見やすくする，手元は別ライトで照らして適切な照度を確保する，スライドのレイアウトの精選等)：秋大会会場(高校)【選択必修：パック】

73. 講習会場，空調等環境が整っており，快適に講義を受けることができました。駐車場も完備され，ありがたかったです。：秋大会会場(その他)【選択必修：パック】

74. こまめに冷房を切り替えて下さりありがたかった。：横手会場(保育園)【選択必修：パック】

75. 指定の座席で講習をすすめるのは非常に良かったと思います。(高校)【選択必修：パック】

76. トイレの数が少ないのか分かりにくいので，休憩時間が終わりそうな順番待ち時間の長さが困りました。：秋大会会場(小学校)【選択必修：パック】

77. 目印も多く，シラバスの説明も丁寧なので会場で迷うことがなかった。：秋大会会場(幼稚園)【選択必修】

78. 5月以降での，申し込みで助かりました。(4月は忙しいため)(認定こども園)【選択必修】

79. 夏季休業中に受講できる講座が多くあり，気持ちや時間にゆとりのあるときに受講でき，ありがたい。(小学校)【選択必修】

80. 一日，6時間はきついです。2日間がかりにはできないものですか？(小学校)【選択必修：パック】

81. 中高の教員と小・幼の教員に分けて下さったことで，より学びが深まった。(認可保育所)【選択必修：パック】

82. 受付，試験時等職員の方の丁寧な対応で気持ち良く受講することができました。(高校)【選択必修：パック】

83. 無理のない，日程であった。(小学校)【選択必修：パック】

84. この評価書は、午前の講習と午後の講習をまとめて評価する形式ですが、午前と、午後は、別の先生の講習であるため、まとめての評価はしにくいです。(小学校)【選択必修:パック】
85. 学校の状況変化を知るいい機会であったが、逆に幼・保の状況を学校の現場にいる先生方にも知ってほしい。そういう機会を次回は設けてほしい。(認定こども園)【選択必修:パック】
86. 次回…10年後の更新はあるのだろうか。とても気になります。(小学校)【選択必修:パック】
87. 更新講習自体はとても勉強になると思いますが、登録その他に関してすべて自己責任ということや、休日に行われるという制度自体は現役教員としてとても負担を感じます。(高校)【選択必修】
88. 来年あたりで、免許講習制度も1回りするのでは、この間に受講した方々が、教員としてレベルアップしたのかを客観的に調査し、多額の費用をかけた効果があったのかをきちんと検証していただきたいと思います。その上で、これまでのやり方を継続するのか、改めるのかを決定していただければと考えています。(小学校)【選択必修】
89. もっと現場に即したもので、生徒に還元できる内容を期待します。(高校)【必修】
90. 学校教育との交流がなかなか持てない中で、学校教育についての知識を得る機会となり今後連携を図っていく中でとても参考になりました。(保育園)【必修】
91. 内容が、小中高の教員を前提とした講義であり、全く分からないことが多かった。できれば幼稚園教諭を対象にした必修講義にし、別々に講習した方がいい。(保育園)【必修】
92. 保育に係わる人には少し難しく感じた。(保育園)【必修】
93. 内容は興味深かったのですが、盛り沢山のせいか難解でした。(特支:養護)【必修】
94. 資料画面が消えるのがはやいことがあって、書ききれないものもあり残念でした。(小学校)【必修】
95. 口調が早口すぎるように感じた。(小学校)【必修】
96. 時間配分がきちんとして良かった。(小学校)【必修】
97. パワーポイントの資料は事前に配布してもらった方がメモなど取りやすいように思います。(小学校)【必修】
98. 直近のデータを示して下さったことで、現状の把握がしやすかったと思います。(中学校)【必修】
99. 1日2講義は、午前午後と先生が変わり分かりやすく講義していただきましたが、やはりテスト2つはきつかったです。(中学校)【必修】
100. スクリーンも2台設置していただいて、後ろの座席でも困らなかったです。: 大仙会場(特支)【必修】
101. プロジェクターの下半分は、会場の真ん中あたりに座っていても見えづらかったのもっと高い位置だとよかった。: 秋大会場(中学校)【必修】
102. タバコのおいが苦手ですが、喫煙所が囲われた場所ではなく、また、受講会場すぐの所だったため、午前～午後ずっとにおいて気持ちが悪かった。妊婦さんも居たので配慮が必要だと思いました。(その他)【必修】
103. シラバスを読んで今日受講してみて特に不都合は感じませんでした。(小学校)【必修】
104. 講習の自己負担金額が多いにもかかわらず、やむを得ずキャンセルした場合の返金が全額でなかったのが残念に思います。(保育園)【必修】

105. 保育士（幼稚園教諭）は学校の先生たちの給料とは全く違う（三分の一）ので、受験料が正直厳しかった。（保育園）【必修】

106. 現場を離れている人や、私立保育園で働いている人は更新のことを分らない人も多い。このままだと、免許が使えなくなる人も多くなり、ますます保育士不足につながるのではないか。案内があるとありがたい。（保育園）【必修】

107. 10年ごとの更新ではあるが、必修講習の内容を30代、40代、50代、それぞれの年齢層を対象にしたものがあってもよいのではないか。（小学校）【必修】

平成28年度教員免許状更新講習担当者事後アンケート

①担当した講習の内容や方法に関する感想・意見

1. 学校での実践に活用できるような資料やワークシート等を用意したつもりである。
2. 来年度のシラバスをもう少し詳しく書こうと思った。(受講者の中に考えているものと違ったという意見があったため)
3. 一方的な話とならないようにし、相互評価の場面を多く取り入れた。
4. グループワークやロールプレイ等、体験学習とすると、時間が少し足りないという講師いた。
5. さまざまな校種の先生方に関心を持ってもらえるような内容になるように工夫してはいますが、この点に課題があると考えています。
6. 受講者の多様なニーズに応えていきたい。
7. 小・中を中心とした内容を準備していたが、幼・保の受講者が多かったため、一部内容を変更して対応した。【選択必修】
8. 講義とワークショップを組み合わせた方法は、効果的であると感じている。【選択必修・パック】
9. 内容は今日の動向を理解するにふさわしいものと思う。【選択必修・パック】
10. 校種もそれぞれの受講者の要求も多岐にわたっており、内容を絞って組み立てることが難しい。情報量が多くなって受講者には負担だったかもしれない。【必修】
11. 今年度から“世界の教育の動向”についての理解を深めることが目標に加わり、その準備を進め、講義で紹介できた。【必修】

②受講した参加者に関する感想・意見

1. 皆さん意欲的で楽しい雰囲気講習が進められました。
2. 問いかけに対するリアクションが、例年よりも少なかったように思う。
3. 1人の参加者がディスカッションや意見交換という方法に慣れていないのか、指示を出す際につっかかるような意見を言っていた。研修が進めにくいと思った。
4. 学力に差があり、どの辺に合わせてやればよいのか難しかった。
5. 受講した内容をよく理解し、今後の授業や活動に利用してもらえそうな内容であった。高大接続に繋がる関係ができそうであった。
6. 教員(受講者)の免許状更新講習への意識や準備が不足している者がかなりいたように感じた。
7. 全時間共に興味深く、集中していた。～アクティブラーニングをとり入れていた為。
8. グループ討論やロールプレイに参加し、異校種の参加者と意見や感想を交換してくれていた。【必修】
9. この講習を受けること自体に不満を持っている方がおり、うまく対応できませんでした。【必修】
10. 毎年1人くらい、腕組みをして、ノートも取らずにいる男性教員が見受けられる。教員研

修センターでは、腕組み、足組みを文書で禁止しており、秋田でも検討する必要がある。【必修】

③会場の場所、施設・設備、空調等に関する感想・意見

1. 研究室から離れていて、材料や用具の準備が大変だった。
2. 空調の不調。
3. 飲み物の自動販売機や食事ができる場所について問い合わせがありました。
4. 快適ではあったがスクリーン等の設備がある部屋だとなおよかったと思う。
5. 丁度良い大きさで、可動の机がディスカッションに用いやすく、よかった。
6. 会場がある程度老朽化している場合、会場設定には慎重な検討が必要と思われる。（北秋田市）
7. 良好（特に、ワークショップの際のテーブル配置も事前になされていて、ロスタイムが生じなかった）【選択必修・パック：横手会場】
8. 総合研究棟2階の教室に80名入れるのはかなりかなり厳しい。最前列の隅に座った人のスクリーンの入射角は相当小さい。しかも演台がじゃまになっていたのではないかと思います。改善をお願いいたします。【必修：秋大会場】

④秋田大学の更新講習の実施体制、事務連絡等に関する感想・意見

1. 十分にサポートしていただいた。
2. （出張についての）交通手段の制約をなくして頂きたいです。
3. 受講生からネット以外の申し込みも可能にしてほしいという話がありました。これ以外に岩手のように前期・後期4日間日にちを決めて、その期間だけで講習が終わるようにしてほしい、という意見がありました。
4. 受講者にとって好ましい開催時期があれば知りたい。
5. エアコンを朝からつけてくれて助かりました。
6. はじめての担当者にアドバイスがあってもよいかもしれない。
7. 教室内にゴミや忘れ物が目立ち、朝清掃する必要がありました。外部から人を迎えるので、事前に清掃業者さんを入れられれば理想的だと思いました。【選択必修】
8. 事前に何回も講習内容や体制について打ち合わせを重ねましたので、気持ち的に余裕をもって臨むことができました。事務連絡もスムーズだったと思います。【選択必修・パック】

⑤学校、教育委員会、文部科学省などに対する意見・要望

1. 受講者に公務災害などの適用がないと記されていますが、実習（フィールドワーク）では万一のこともありますので、受講者への配慮をお願いしたいと思います。
2. 校種や教科が異なる教員の交流を増やした方がよいのではないかと。
3. 県教委と文部科学省へは、研修の充実を図る視点から、また副次的に、本県のような地方においては交流人口増加につながるという視点から、広域参加を積極的に推奨してほしいものである。

4. 講習に対するフィードバックがあればありがたいです。
5. 発声・歌唱指導を学ぶ機会を現場の教員が持てるような講座や講習会を設定してほしい。音楽(歌唱)教育の本質＝人間教育が教員にも必要である。
6. 養護教諭の果たす役割は多いので、養護教諭の複数配置をのぞみます。
7. 受講生側にどんなニーズがあるのか、という統計的データがあれば頂きたい。
8. 現状ではシラバスの内容に沿った講習をせざるを得ないが、受講生の希望を基にした講習内容の計画が立てられないものだろうか？
9. 受講生が自己負担ではなくても講習を受けられるような補助があると有難いです。
10. 更新講習を簡素化してほしい(文科省への要望)。
11. 受講者のニーズがある程度一致しているテーマを絞って授業を組み立てられるようにしてほしい。【必修】

⑥来年度に向けての要望など

1. 内容が変わるたびにシラバスを手書き修正するのは大変なのでファイルで提出させてほしい。
2. 秋田大学の専用のレポート用紙があればよいと思います。
3. 平日と休日のどちらが受講生が増えるのか、統計的データがあれば頂きたい。
4. 製本した共用の資料を準備するなど、参加する受講者の立場を考えた体制でしたので、継続できればと思います。【選択必修・パック】
5. どうしようもないことですが、お盆期間中の開催は、受講者も講師も厳しかったと思います。【選択必修・パック】
6. 幼保の新制度後の（特に保育士として働く方たちの）ニーズの把握が困難だとは思いますが教員個人の判断で受講者数を決めるのはとても迷います。【選択必修】
7. 調整等難しいと思うが、大会等との重なりについての配慮が必要ではないか。【選択必修】
8. 本研修の受講者が少数でしたので、来年度の実施の有無については検討が必要かと思えます。「選択」の枠での実施もあり得るのでしょうか？【選択必修】
9. 講習が始まって10年の節目に向けて、講師や内容の構成をさらに見直していく必要性がある。【選択必修】

⑦その他

1. 実技なので指導者も保険に入れていただきたい。
2. 今年必修の横手会場を受講した方から受講会場の近くに喫煙所があり困った、とのことでした。
3. 902の方は4割以上の方が幼保の方で、急きょ幼稚園教育要領の話を挟んだりしましたが、もともとの話が小・中・高を中心にした内容だったので、わかりにくい内容だったかもしれません。【必修】

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504140号	【選択】近世城下町の構造―秋田藩の城下町を事例にフィールドワーク―	江戸時代は都市の時代といわれる。諸藩は領国を治め、また藩経済を全国経済に結びつけるため領国の中心に城下町を建設した。それは全国共通のある基本設計のもとに造られた都市計画だった。本講習は、そうした近世城下町の構造を江戸時代の社会構造の観点から解説し、その上で実際に城下町を歩くフィールドワークをおこなう。	渡辺英夫(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月4日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴)	10人	10人
平28-10012-504142号	【選択】美術教育における題材体験(平面)	美術教育における平面の様々な表現を体験して、児童・生徒の関心・意欲・態度を高め、表現する力を伸ばす指導力を身に付ける。併せて題材を開発する力を身につける。	長瀬達也(教育学研究科教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月4日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(美術)、高校(美術)	12人	12人
平28-10012-504144号	【選択】食品科学の最前線(食の安全確保、健康維持機能の活用、世界の食糧需給構造について)	【全体の概要】食品科学に関する基礎知識及び最近の食をめぐる様々な問題について解説する。【食の安全と安心】放射能汚染問題や学校給食におけるアレルギー等の食の安全に係わる問題について解説する。【食とメタボリック症候群】急増するメタボリック症候群の実態を紹介し、食の健康維持機能について解説する。【食の近未来】世界の食糧需給構造や、わが国の近未来における食の安全保障について解説する。	秋山美展(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授)	秋田市(秋田県立大学)	平成28年6月4日(土)、 平成28年6月5日(日)、 平成28年6月11日(土) 9:30～17:00	18時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(理科、家庭)、高校(理科、家庭、農業、水産)、養護教諭、栄養教諭	30人	28人
平28-10012-504146号	【選択】近世日本海海運の展開と秋田	近世、江戸時代は米経済の時代であり、年貢米を中央市場に出荷する必要性から河川水運と海運を連結した水運機構が全国規模で整備された。それは、幕府諸藩が運賃契約で廻船を雇用する方式だったが、日本海沿岸にはそれとは違い自己資本で積荷を買い込んで他の湊に廻漕して販売を繰り返すという特徴的な海運が展開した。こうした日本海海運の具体像を検討することにより秋田から全国を見通す視点について考察したい。	渡辺英夫(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月5日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴)	10人	10人
平28-10012-504148号	【選択】男鹿半島のジオパークで学ぶ大地の歴史	男鹿半島・大湯ジオパークにおける小学生～高校生のいずれかの集団による野外実習を想定した実践的な講習を行う。講習では、野外学習計画立案の仕方、男鹿半島の野外学習地における地層学習に最適な場所とその意義、児童生徒の安全確保のための下見のポイント、災害発生等緊急時の対応策などについて、過去の実践例をもとに解説する。このような講習を通じて、野外学習の意義と安全確保について理解させることをねらいとする。	川村教一(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)、男鹿市	平成28年6月5日(日) 8:30～16:00、 平成28年6月12日(日) 9:30～17:00	12時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(理科)、高校(理科)	20人	16人
平28-10012-504149号	【選択】小学校理科における効果的な観察・実験	小学校理科教科書に記載されている観察・実験について検討を行い、どのような点に留意すると児童がよりよく学習目標を達成できるのか、さらにどんな工夫ができるのかについて、実際に観察・実験を行いながら学ぶ。また、その観察・実験のバックグラウンドとなる理論についての理解を深める。	田口瑞穂(教育文化学部講師)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月11日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校	20人	20人
平28-10012-504150号	【選択】児童・生徒の領域・教科等授業におけるNES自己評価法を用いた言語活用の実践研究	児童・生徒のNES観点別自己評価に関する実践的研究を行い、関心・意欲に焦点化したNES自己評価に関する授業実践場面の検証作業を行う。最初の講習はNES自己評価法に関する講義と自己評価に関する受講者の発表。夏休み終了後に各所属校で授業実践し、第二回目の講習では全員がNES自己評価の授業改善への活用について発表・資料提出することで試験とする。夏休み前の講義6時間、実践後の発表演習6時間の計12時間。	森和彦(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月19日(日)、 平成28年11月6日(日) 9:30～17:00	12時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科	10人	0人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504151号	【選択】 小学校理科の天文実習	主として理科を専攻としない小学校教員、地学を専攻としない中学校理科教員を対象として、小学校理科のうち天文領域について、学習指導要領記載の学習項目について解説するとともに、理科教育学(地学)の視点から最近の研究成果(児童の天体認識や天体観察の実態など)を紹介する。また、天体観察方法や教材開発について実習を行い、小学校4年生もしくは6年生の理科の授業のための教材研究の指針を与える。	川村教一(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月19日(日) 9:30~17:00	6時間	教諭	小学校、中学校(理科)	20人	11人
平28-10012-504152号	【選択】 特別支援教育―障害児の教育Ⅲ―	我が国は、国連の「障害者の権利に関する条約」に批准し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築をめざしています。講習では、インクルーシブ教育の理念、求められる合理的配慮と基礎的環境整備、今後学校教育に求められる取組について、演習を交えながら考えていきます。	藤井慶博(教育学研究科准教授)	北秋田市(北秋田市交流センター)	平成28年6月25日(土) 9:30~17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	40人	40人
平28-10012-504141号	【選択】 近世城下町の構造―秋田藩の城下町を事例にフィールドワーク―	江戸時代は都市の時代といわれる。諸藩は領国を治め、また藩経済を全国経済に結びつけるため領国の中心に城下町を建設した。それは全国共通のある基本設計のもとに造られた都市計画だった。本講習は、そうした近世城下町の構造を江戸時代の社会構造の観点から解説し、その上で実際に城下町を歩くフィールドワークをおこなう。	渡辺英夫(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月25日(土) 9:30~17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴)	10人	10人
平28-10012-504155号	【選択】 確率分布と統計的な推測	高等学校の数学Bにおける「確率分布と統計的な推測」について理解を深めることを目的とする。確率変数の期待値に関する性質、二項分布と正規分布の関係などについて触れ、統計的な推測の考えがなぜ必要なのかみていく。課題研究を進めるうえでも有用な、高校生でもできるデータ分析の方法についても取り上げる。	宇野力(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月26日(日) 9:30~17:00	6時間	教諭	高校(数学)	20人	0人
平28-10012-504156号	【選択】 地域生活とスポーツ	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進や住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備は、今日のスポーツ政策における重要な課題となっている。本講習では、現代社会において営まれる人びとの地域生活を基点として、これらの政策課題に関連した取り組みの実態とその問題性についての理解を深める。	伊藤恵造(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月25日(土) 9:30~17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(保健体育)、高校(保健体育)	40人	39人
平28-10012-504147号	【選択】 近世日本海海運の展開と秋田	近世、江戸時代は米経済の時代であり、年貢米を中央市場に出荷する必要性から河川水運と海運を連結した水運機構が全国規模で整備された。それは、幕府諸藩が運賃契約で廻船を雇用する方式だったが、日本海沿岸にはそれとは違い自己資本で構荷を買い込んで他の湊に廻漕して販売を繰り返すという特徴的な海運が展開した。こうした日本海海運の具体像を検討することにより秋田から全国を見通す視点について考察したい。	渡辺英夫(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月26日(日) 9:30~17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴)	10人	10人
平28-10012-504157号	【選択】 思春期の交友関係と学校～友だち関係・恋愛からいじめまで～	この講習では、具体的なデータをもとにして、①「思春期の子どもたちにとって、友だちはどのような存在なのか？」②「思春期の子どもたちにとって、恋愛はどのような意味を持つのか？」③「彼らがいじめを止められないのかはなぜか？」という3つの疑問を解き明かすことによって、彼らが学校でどんな日常を生きているのかを考察します。その現状を踏まえたくうえで、実践的な解決策を模索していきます。	鈴木翔(理工学研究科助教)	秋田市(秋田大学)	平成28年6月26日(日) 9:30~17:00	6時間	教諭 養護教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、養護教諭、中学校全教科、高校全教科	30人	30人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表（選択領域）

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504158号	【選択】学校給食における地産地消と地域の食文化	学校給食の教育的意義や現状及び課題を踏まえ、食育や地産地消の視点を家庭科教育と関連づけて考察する。また、地域の食文化の特徴や現状を把握し、郷土食を給食メニューに導入する際の工夫点を検討するとともに、地域の特産品や食文化を導入する際の課題や今後の方向性を検討する。	佐々木信子(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月2日(土) 9:30～17:00	6時間	栄養教諭	栄養教諭	5人	0人
平28-10012-504159号	【選択】近代文学の読解	明治以降、昭和にかけての近代小説をおもな題材とする。語り方、登場する人・物・生きものの関係など、読解の観点について考える。また、作品が発表された時代・社会的背景、文芸思潮や文学観との関連をふまえて考える。	山崎義光(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月2日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校(国語)、高校(国語)	30人	14人
平28-10012-504160号	【選択】高校地学基礎教材開発演習(天文・気象海洋領域)	中等教育理科・地学領域、特に新しい高等学校学習指導要領理科の科目「地学基礎」の内容のうち天文領域および気象・海洋領域について、主として地学を専攻しない教員を対象として学習指導要領記載の学習項目について解説するとともに、教科内容的な立場から最近の自然科学的な知見を解説する。これら学習項目の教材を開発する際の素材の選定などについて、実践的な例を取り上げながら演習を行う。	川村教一(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月3日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校(理科)、高校(理科)	10人	2人
平28-10012-504161号	【選択】言語表現の可能性を探る	この講習では言語表現の可能性について考えます。そのために、まずは言葉の仕組みや働きを言語学的な視点から分析します。その分析をもとに、言葉の持つ力、その逆の弱さ、盲点などを実例を交えて検討します。それらを総合的に踏まえ、言葉が学校教育ならびに日常の言語生活において果たしうる役割を追究します。	大橋純一(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月3日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校(国語)、高校(国語)	30人	19人
平28-10012-504162号	【選択】保健体育科教育学概論―体育の授業をつくる・ふりかえる―	体育の目標や学習内容を確認し、各運動領域の特性を習得するための教材づくり、単元計画の立案の留意点を学ぶ。また、授業をふりかえるための授業研究の方法や評価項目についても検討を行う。	松本奈緒(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月3日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校(保健体育)、高校(保健体育)	50人	21人
平28-10012-504145号	【選択】食品科学の最前線(食の安全確保、健康維持機能の活用、世界の食糧需給構造について)	【全体の概要】食品科学に関する基礎知識及び最近の食をめぐる様々な問題について解説する。【食の安全と安心】放射能汚染問題や学校給食におけるアレルギー等の食の安全に係わる問題について解説する。【食とメタボリック症候群】急増するメタボリック症候群の実態を紹介し、食の健康維持機能について解説する。【食の近未来】世界の食糧需給構造や、わが国の近未来における食の安全保障について解説する。	秋山美展(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授)	秋田市(秋田県立大学)	平成28年7月3日(日)、 平成28年7月16日(土)、 平成28年7月17日(日) 9:30～17:00	18時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(理科、家庭)、高校(理科、家庭、農業、水産)、養護教諭、栄養教諭	30人	29人
平28-10012-504163号	【選択】英語・コミュニケーション研究と英語教育	(1) Quirk, et al. (1985), Hudson (1998), Bilber et al. (1999, 2002), Huddleston and Pullum (2002, 2005)等の「英文法・英語コミュニケーション」に関する文献を原文で読む。 (2) 上記の英文法書等を読み、様々な観点から「英文法」および「英語コミュニケーション」の特質を講義、討論する。 (3) 「英文法・英語コミュニケーション研究」の英語教育への含意を考察し、応用を検討する。	星宏人(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月9日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校(英語)、高校(英語)	20人	7人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504164号	【選択】美術教育における鑑賞学習	美術教育における鑑賞学習の指導力を身に付けるために、鑑賞学習の基礎的な知識を身に付け、さらに美術館での鑑賞を体験する。そして、鑑賞学習の授業案を作成する。特に児童・生徒の関心・意欲・態度を高めることを主眼とする。	長瀬達也(教育学研究科教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月9日(土) 9:30～17:30	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(美術)、高校(美術)	16人	15人
平28-10012-504166号	【選択】運動が苦手な子どもの学習指導	体育や保健体育において重要な教材であるボール運動・球技、器械運動(マット、鉄棒、とび箱)、水泳、縄跳び運動などの中から、一般に子どもたちにとって苦手とされる運動をいくつか抽出し、それらの運動の発育・発達に応じた学習指導法を実践的に学ぶ。	佐藤靖(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月16日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(保健体育)、高校(保健体育)	20人	19人
平28-10012-504167号	【選択】美術教育における題材体験(立体)	立体造形における発想方法の一つとして「見立ての造形」というものがある。この講習では、海辺や河原などに転がっている石の中からこれはというものを探し出し、その石を何らかの動物がある動作をしている姿に見立てる。そしてもっととそれらしく見えるように目や耳、足、毛並みなどを、鉛筆で補助線を引いた上で水彩絵の具、マーカーペンなどを用いてペイントし、立体作品として仕上げていく。	笠原幸生(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月16日(土) 9:00～16:00	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(美術)、高校(美術)	10人	10人
平28-10012-504168号	【選択】体験学習をとり入れた家庭科指導案の工夫と展開	家庭科教育を通して生活実践力とたくましく生きる力を育む「体験型・探求型カリキュラム」を作成するとともに、教科指導上の課題解決を図るための方策を検討する。 具体的には、小学校・中学校・高等学校家庭科の各分野の学習に体験型・探求型のプログラムを導入し、児童・生徒や家庭及び地域の実態に即した指導案、教材等を工夫し、演習を通して教科指導力を高める。	佐々木信子(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月17日(日)～ 平成28年7月18日(月) 9:30～17:00	12時間	教諭	小学校、中学校(家庭)、高校(家庭)	10人	0人
平28-10012-504169号	【選択】地域を体験できる日本史	秋田県内の遺跡を見学し、「地域の歴史」を素材に体験学習用の教材作成を行う。小学校・社会、中学校・社会、高等学校・地歴(日本史)、および総合学習に対応できるよう、メニューを提案する。また、「生きる力」を考える教材作成のメニューを提案する。	渡部育子(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月18日(月)、 平成28年7月29日(金)、 平成28年7月31日(日) 9:30～17:00	18時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴・公民)	20人	11人
平28-10012-504171号	【選択】高校数学からの微分方程式	高校数学(微分積分)の延長として、微分方程式(変数分離形・一階線形)の初歩を学ぶ。具体的には微分方程式の解の求め方(計算)と簡単な理論(証明)を行う。また高校数学に現れる『平均値の定理』、『原始関数』、『定積分』などの基礎定理の復習も行い、微分積分のより深い理解を目指す。	原田潤一(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月23日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	高校(数学)	20人	6人
平28-10012-504172号	【選択】秋田県の自然エネルギーと熱電変換技術	熱電変換は熱エネルギーを直接電気に変換できる技術で、分散した熱エネルギーの回収に適していることから、エネルギーハーベスティング(環境発電)においても最も期待される技術の一つである。一方、秋田県の自然は熱源(温泉、火山)や水源が豊富であり、自然エネルギーの利用という観点からも魅力的である。この講習では、熱電変換技術の基礎および秋田県の自然エネルギー利用への応用の可能性について学ぶ。	長南安紀(秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科助教) 山口博之(秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科准教授) 布田潔(理工学研究科准教授) 昌子智由(産学連携推進機構准教授)	由利本荘市(秋田県立大学)	平成28年7月23日(土) 9:30～16:50	6時間	教諭	小学校、中学校(理科・技術)、高校(理科・工業)	20人	8人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504246号	【選択】学童期の栄養	学童期の栄養障害には、肥満と栄養不良、瘦せが挙げられる。肥満は、劣等感、引っ込み思案、運動能力の低下などの原因となり、心理的にも日常生活面でも好ましくない。過度の肥満は児童のメタボリックシンドロームを引き起こし、将来、生活習慣病になるリスクを高める。講習では学童期の肥満の現状、原因、リスク、栄養アセスメント等について学習する。	進藤祥子（聖霊女子短期大学生生活文化科准教授）	秋田市(秋田大学)	平成28年7月23日(土) 9:30～16:50	6時間	栄養教諭	栄養教諭	20人	0人
平28-10012-504170号	【選択】地域を体験できる日本史	秋田県内の遺跡を見学し、「地域の歴史」を素材に体験学習用の教材作成を行う。小学校・社会、中学校・社会、高等学校・地歴（日本史）、および総合学習に対応できるよう、メニューを提案する。また、「生きる力」を考える教材作成のメニューを提案する。	渡部育子(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)、大仙市	平成28年7月24日(日)、 平成28年8月4日(木)、 平成28年8月7日(日) 9:30～17:00	18時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴・公民)	20人	20人
平28-10012-504173号	【選択】最適化理論-基礎と応用-	高等学校で習う数学をベースに、応用数学や最適化・数理意思決定の基礎と応用について学びます。凸集合、凸関数、最適化理論の基礎概念、それら応用が主なテーマです。純粋数学による視点とその応用・役立て方としての視点で解説します。簡単な計算による演習も実施します。専門的な数学の予備知識等は必要としません。	木村寛（秋田県立大学システム科学技術学部経営システム工学科教授） 星野満博（秋田県立大学システム科学技術学部経営システム工学科准教授）	由利本荘市(秋田県立大学)	平成28年7月25日(月) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校（数学）、高校（数学）	20人	4人
平28-10012-504174号	【選択】秋田の近代文学	プロレタリア文学運動の嚆矢となった雑誌『種蒔く人』の主要同人（小牧近江、金子洋文、今野賢三）、戦後の大ベストセラー作家石坂洋次郎、農民文学の代表的作家伊藤永之介、最後のプロレタリア作家と言われた行動派の松田時子、美貌の女流と騒がれた矢田津世子ら、秋田県ゆかりの作家の人生と文学活動について解説する。また、彼らの作品の教材化（「国語」「ふるさと学習」）の可能性も探りたいと考えている。	高橋秀晴（秋田県立大学総合科学教育研究センター教授）	秋田市(秋田県立大学)	平成28年7月25日(月) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校（国語）、高校（国語）	30人	12人
平28-10012-504175号	【選択】発音・シャドーイング・リスニング指導理論と実践	まず、リスニング指導に必要となる発音指導について、その方針や基礎を確認する。そして、生徒のリスニング力を伸ばすために、「どんな目的でどんな音読活動を、いつ取り入れるべきか？」をテーマとして、シャドーイング・音読の様々な方法について基礎的な理論をもとに、再検討する。最後に実際の指導場面を想定し、プランニングを行い、短い発表を行う。	濱田陽(教育推進総合センター准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月26日(火) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校（英語）、高校（英語）	20人	16人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504177号	【選択】木材の科学	石油の大量消費により生活は豊かになったが、地球温暖化などのグローバルな問題も生じており、21世紀は循環型資源に基づいた社会に変換することが求められている。そのためには、地球上で最も多量に存在する循環型資源である木材を効率的に利用することが肝要である。本講習は、1)木材の成り立ちや化学的成分、物理的性質など木材の科学的知見を6時間、2)木質資源の現状とCO2循環と温暖化抑制への寄与などについて6時間、3)製材や木質材料、紙、アルコール発酵や土木的利用などの代表的な利用について6時間を予定している。	中村昇（秋田県立大学木材高度加工研究所教授） 林知行（秋田県立大学木材高度加工研究所教授） 山内繁（秋田県立大学木材高度加工研究所教授） 高田克彦（秋田県立大学木材高度加工研究所教授） 栗本康司（秋田県立大学木材高度加工研究所教授） 佐々木貴信（秋田県立大学木材高度加工研究所教授） 川井安生（秋田県立大学木材高度加工研究所准教授） 澁谷栄（秋田県立大学木材高度加工研究所准教授） 渡辺千明（秋田県立大学木材高度加工研究所准教授） 岡崎泰男（秋田県立大学木材高度加工研究所准教授） 山内秀文（秋田県立大学木材高度加工研究所准教授） 足立幸司（秋田県立大学木材高度加工研究所准教授）	能代市(秋田県立大学)	平成28年7月26日(火)～ 平成28年7月28日(水) 9:00～16:20	18時間	教諭	中学校（理科・技術）、高校（理科・工業）	10人	7人
平28-10012-504178号	【選択】総合的な学習の時間と地域創生「食と文化」	総合的な学習の時間を充実させるために、地域の伝統的な食文化や史跡などの教材化を通して、授業力の向上を図る。当日は、秋田内陸縦貫鉄道とその沿線地域から地域課題を設定し、地域課題解決のためのフィールドワーク及び教材開発に関する講義・試験が主な内容となる。	濱田純(北秋田分校長)	北秋田市(北秋田市交流センター他)	平成28年7月26日(火) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科	30人	30人
平28-10012-504180号	【選択】4技能統合型授業のデザイン	「4技能をいかに連携させて50分の授業を展開するか」について理解し実践する講習である。理論の面では、第二言語習得理論の関連する知識について、講義とディスカッションによりその理解を深める。実践の面では、普段の授業でうまくいかない点を共有しその解決策を考え、さらに、4技能統合型の授業をデザインする（指導案作成までとし模擬授業は含まない）。4技能統合をテーマにし、英語の授業に必要な理論的知識を明確にし、授業改善に役立てる視点を養う。筆記試験は、実践に必要な知識と、実践の改善に知識を生かす省察を問う。	佐々木雅子(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年7月29日(金) 10:00～17:15	6時間	教諭	小学校、中学校（英語）、高校（英語）	10人	10人
平28-10012-504181号	【選択】豊かで確かな力を身につける説明文・論説文の授業入門	子どもたちに豊かで確かな国語力を身につけさせる説明文・論説文の授業について、実践的に講習を展開する。学習指導要領の「構成」「全体と部分との関係」「事柄の順序」「事実と意見」「段落相互の関係」「要約」「要旨」「評価」などのキーワードを意識しながら、説明文・論説文の指導のあり方について、教科書教材を使いながら具体的に検討していきたい。NIE（新聞教材）も取り上げる。ワークショップ的に講習を進めていく。	阿部昇（教育学研究科教授）	大仙市(大曲交流センター)	平成28年7月29日(金) 10:30～17:30	6時間	教諭	小学校、中学校（国語）	32人	20人
平28-10012-504182号	【選択】秋田の水を題材とした環境教育	秋田県内の各地には湧水や湖沼、滝など多様な水環境が存在しており、これらの中には歴史的な由来や伝承を有するものも多い。本講習では、このような水環境を題材として講義ならびに野外演習を行い、環境教育（環境の科学的な特徴や人々との関わりについての過去、現状、そして未来の環境変化の可能性について学習することで、生徒の環境問題に係るリテラシーや環境問題を身近な問題として捉える能力を高める）について理解を深める。対象地域には鹿角市を予定。	林武司（教育文化学部教授）	鹿角市(花輪市民センター)	平成28年7月30日(土) 10:00～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科	10人	9人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表（選択領域）

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504183号	【選択】 小学校英語教育	小学校英語活動の目的を理解し、中学校・高等学校との違いを認識しながら、一貫性を知る。その内容と方法、教材の選び方・作成方法、指導技術、評価などについて学び、模擬授業を実施する。英語が得意ではない先生が英語を教えることに対する不安・心配を話し合い、それをなくす方法を探る。	John Thurlow(聖霊女子短期大学生 活文化科専任講師)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月1日(月)～ 平成28年8月3日(水) 9:30～14:50	12時間	教諭	小学校、中学校（英語）、高校（英語）	30人	26人
平28-10012-504184号	【選択】 地域素材教材開発演習	狭義の地域学習（小学校における3・4年社会科）のみならず、中学校、高等学校においても生徒たちの学習圏や生活圏に存在する身近な地域素材は、社会科（地理歴史科、公民科）教育実践を豊かにするものである。本講習では、そうした地域素材を用いた実際の教材開発を試みたい。	外池智(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月3日(水)～ 平成28年8月4日(木) 9:00～16:00	12時間	教諭	小学校、中学校（社会）、高校（地歴・公民）	12人	10人
平28-10012-504185号	【選択】 栄養関連データの解析	食育の最前線にいる栄養教諭の方々は種々の栄養関連データを所有している。しかし、日常業務に追われて、それらのデータを活用し今後の食育に役立てるような時間をなかなか持てないのが現状のように思われる。本講習では、特に数値データを分析する際の基本的な統計技術を演習する予定である。	高崎裕治(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月4日(木) 9:30～17:00	6時間	栄養教諭	栄養教諭	10人	0人
平28-10012-504176号	【選択】 発音・シャドーイング・リスニング指導理論と実践	まず、リスニング指導に必要な発音指導について、その方針や基礎を確認する。そして、生徒のリスニング力を伸ばすために、「どんな目的でどんな音読活動を、いつ取り入れるべきか？」をテーマとして、シャドーイング・音読の様々な方法について基礎的な理論をもとに、再検討する。最後に実際の指導場面を想定し、プランニングを行い、短い発表を行う。	濱田陽(教育推進総合センター准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月5日(金) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校（英語）、高校（英語）	20人	12人
平28-10012-504186号	【選択】 自然エネルギー利用の基礎と最近の動向～風力発電、水力発電、熱電変換、太陽光発電～	我々は様々なエネルギー資源を扱いやすい形態の電気エネルギーに変換し、産業・生活に役立てている。近年は特に、自然エネルギーを利用した発電技術の開発が重要な課題の一つとなっている。本講習では、風力発電、小水力発電、熱電変換、太陽光発電について基礎と応用を理解し、今後の展望についても理解する。	須知成光（秋田県立大学システム科学技術学部機械知能システム学科准教授） 山口博之（秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科准教授） 長南安紀（秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科助教）	由利本荘市(秋田県立大学)	平成28年8月5日(金) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校（理科・技術）、高校（理科・工業）	20人	20人
平28-10012-504153号	【選択】 特別支援教育―障害児の教育Ⅲ―	我が国は、国連の「障害者の権利に関する条約」に批准し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築をめざしています。講習では、インクルーシブ教育の理念、求められる合理的配慮と基礎的環境整備、今後学校教育に求められる取組について、演習を交えながら考えていきます。	藤井慶博（教育学研究科准教授）	秋田市(秋田大学)	平成28年8月6日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	50人	50人
平28-10012-504187号	【選択】 平面幾何の世界	平面幾何の定理は、図形の作図に有用な技術として使われてきた。中学校・高等学校で発展的内容として扱われる定理について解説し、平面幾何の定理と作図問題との関連について理解を深める。講習では、様々な正五角形の作図を通して定理の応用について学ぶ。	山口祥司(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月6日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校（数学）、高校（数学）	20人	12人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表（選択領域）

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504188号	【選択】情報デザイン入門	一般的に「デザイン」は造形表現の対象として扱われるが、現在では「世の中の諸問題を解決する手段」として重視されている。学校現場の場面でも、学習環境の改善、教材研究の効率化など、有効に作用する部分が多く存在する。このデザインを「情報」という面からみると「『わかりやすさ』をどのようにつくっていくか」ということがポイントとなる。本講義では「わかりやすさのデザイン」をキーワードに、「情報デザイン」の基礎的な内容について理解を深めるとともに、情報デザインを展開する上で必要な知識・技術の習得を目的とする。	石井宏一(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月6日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科	20人	20人
平28-10012-504189号	【選択】幼児期の発達と教育の独自性	幼児期の発達の特性を「遊び」と「学び」をキーワードとして考える。そこから、幼児期の教育・保育の独自性とは何かという課題を、主に幼児の主体的活動と保育の意図という側面から、今日的課題を踏まえて考察する。	山名裕子(教育文化学部准教授) 奥山順子(教育文化学部教授) 瀬尾知子(教育文化学部講師)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月6日(土)、 平成28年8月7日(日)、 平成28年8月11日(木) 9:30～17:00	18時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校	50人	50人
平28-10012-504189号	【選択】幼児期の発達と教育の独自性	幼児期の発達の特性を「遊び」と「学び」をキーワードとして考える。そこから、幼児期の教育・保育の独自性とは何かという課題を、主に幼児の主体的活動と保育の意図という側面から、今日的課題を踏まえて考察する。	山名裕子(教育文化学部准教授) 奥山順子(教育文化学部教授) 瀬尾知子(教育文化学部講師)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月6日(土)、 平成28年8月7日(日)、 平成28年8月11日(木) 9:30～17:00	18時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校	50人	50人
平28-10012-504190号	【選択】魏晉南北朝隋唐史研究における近年の動向と成果	中国の魏晉南北朝隋唐時代史の研究における近年の動向と成果について解説する。また重要な成果については関係論文を講読し、先行研究との相違や根拠となる史料の解釈等について解説する。その上で実証過程や結論の妥当性について受講者全員で検討、講読し、理解を深める。取り上げる事項は、高等学校の世界史教科書の内容から重要度の高いものを選ぶ。	内田昌功(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月7日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校（社会）、高校（地歴）	15人	7人
平28-10012-504191号	【選択】Activate Your English!	学習意欲が低い生徒集団を指導することも視野に入れ、生徒の意欲、関心を高めるための授業作り、補助教材（ハンドアウト）作成、考查及び小テストの作成と評価の方法について実践的な立場から幅広く論じる。中学校、高等学校のいずれかに議論が偏るのを避けるため、担当者は、中学校教諭経験を持つ者、高校教諭経験を持つ者の2名が担当する。トピックによって、担当者日本語と英語を使い分けて講義を進める。	内田浩樹(国際教養大学大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科教授) 町田智久(国際教養大学大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科准教授)	秋田市(国際教養大学)	平成28年8月7日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校（英語）、高校（英語）	10人	10人
平28-10012-504192号	【選択】実験で学ぶ生物の遺伝子DNA―自らDNAを抽出する―	遺伝子DNAは、医療現場・個人の遺伝情報管理・食品の産地や遺伝子組換えのチェック・犯罪捜査と親子鑑定・考古学等への利用、など日常生活・食生活および食育で非常に身近な存在となっていて、その理解を深めることは全校種、全教科で必要かつ重要である。また簡易DNA抽出法を伝授するので教育現場での実践が可能となる。（主な内容：簡易DNA抽出法の体得、精密な抽出と解析技術の体験、日常生活での利用法の理解）	石井照久(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月8日(月)～ 平成28年8月10日(水) 9:30～16:30	18時間	教諭 栄養教諭	小学校、中学校（理科・技術・家庭）、高校（理科・家庭・情報・農業・工業・水産）、栄養教諭	16人	16人
平28-10012-504194号	【選択】算数・数学（小中高）を貫く教材理解	近年、諸研修が指導形態に偏っていると感じます。教材自体・カリキュラム構造の理解を深めることで、小中高の連携も一層強固なものになるはず。例①平均の速さ(小)→変化の割合(中)→微分(高)などは典型的な一貫教材です。②論理用語「かつ」は高校で習いますが、その萌芽は、小2算数の教科書に見ることができます。そのほか、本講座では、①児童生徒の心理と教材、②量概念の形成について教材理解を深めます。	根岸均(横手分校長)	北秋田市(北秋田市交流センター)	平成28年8月8日(月) 9:30～16:30	6時間	教諭	小学校、中学校（数学）、高校（数学）	12人	11人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504196号	【選択】基礎から応用まで、わかりやすい最新バイオテクノロジー	バイオテクノロジーはますます脚光を浴びている。最近では、ヒト多能性細胞を遺伝子操作などで作ることもできるようになり、応用への期待が高まっている。バイオ技術はDNAを取り扱うことから発展してきた。そこで遺伝子DNAを実際に生物から抽出する実験を行い、教育現場での応用について考える。また、最新のバイオテクノロジーについて解り易く解説し、その倫理学的側面についても生徒と一緒に考える材料を提供する。	福島淳（秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授） 志村洋一郎（秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科助教） 宮腰昌利（秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科助教）	秋田市(秋田県立大学)	平成28年8月8日(月) 9:00～16:20	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校（理科）、高校（理科・農業・工業・水産）	20人	18人
平28-10012-504197号	【選択】リスクで考える環境問題	化学物質汚染や自然災害など様々な環境問題に対する不適切な判断(無関心、過剰な怖れや期待など)が、個人や学校あるいは社会に影響を与えることがあります。講習では確率の概念である「リスク」をものさしとして、科学的で適切な判断をするための方法を学びます。総合学習や日常の生活指導などにおいて、自律した冷静な判断を促すほか、科学への関心を高めるのに役立ちます。なお、本講習は参加型の講義形式(アクティブラーニング)で行います。	金澤伸浩（秋田県立大学システム科学技術学部経営システム工学科准教授）	秋田市(カレッジプラザ)	平成28年8月9日(火) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校全教科、高校全教科	25人	25人
平28-10012-504199号	【選択】作物の病害診断Ⅰ（顕微鏡の利用を中心とした糸状菌病の診断法）	作物の生産を阻害する病害虫を防除するためには、的確な診断技術と発生生態に関する知識が必要である。本講習では、秋田県内で発生する主要病害について、診断技術と発生生態に関する基礎的知識を実習形式で学ぶ。さらに病気と連作障害の関係、遺伝子工学を利用した病原菌の検出・診断技術についても紹介する。	古屋廣光（秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科教授） 戸田武（秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科助教）	秋田市(秋田県立大学)	平成28年8月9日(火) 10:00～17:00	6時間	教諭	中学校（理科）、高校（理科・農業）	10人	0人
平28-10012-504195号	【選択】算数・数学（小中高）を貫く教材理解	近年、諸研修が指導形態に偏っていると感じます。教材自体・カリキュラム構造の理解を深めることで、小中高の連携も一層強固なものになるはず。例①平均の速さ(小)→変化の割合(中)→微分(高)などは典型的な一貫教材です。②論理用語「かつ」は高校で習いますが、その萌芽は、小2算数の教科書に見ることができます。そのほか、本講座では、①児童生徒の心理と教材、②量概念の形成について教材理解を深めます。	根岸均(横手分校長)	横手市(サンサン横手)	平成28年8月10日(水) 9:30～16:30	6時間	教諭	小学校、中学校（数学）、高校（数学）	12人	12人
平28-10012-504200号	【選択】作物の病害診断Ⅱ（電子顕微鏡と生物学を用いたウイルス病診断）	作物の生産を阻害する病害虫による被害の予防、回避、および防除には、発生生態の知識と的確かつ迅速な病害虫の診断技術が必要です。本講習では、秋田県内で発生している病害虫を材料として、医学分野でも頻繁に用いられている、血清学、あるいは遺伝子工学を利用した病原菌の診断技術についての実験と講義を行います。	藤晋一（秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科教授） 古屋廣光（秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科教授） 戸田武（秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科助教）	秋田市(秋田県立大学)	平成28年8月10日(水) 10:00～17:00	6時間	教諭	高校（理科・農業）	10人	3人
平28-10012-504201号	【選択】知恵の輪	遊びを通して数学を学ぶ、また、遊びに数学を見出すなどの活動は、算数・数学に対する関心・意欲・態度の育成を図る手立ての1つである。本講習はチャイニーズリングという知恵の輪をモデルに、小学校算数科、中学校及び高等学校数学科の教材としてそれぞれ開発することを目的として、制作・解き方の習熟及び教材開発の3段階で展開するものである。なお、知恵の輪を数学で捉えるとき、数え上げ、二進数及び数列という3つの方法を用いる。	杜威(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月10日(水) 9:00～16:00	6時間	教諭	小学校、特別支援、中学校（数学）、高校（数学）	12人	12人
平28-10012-504204号	【選択】学校音楽教育における発声法と歌唱法の実践的指導法	音楽科教育の発声・歌唱指導における課題と対応について演習を行いながら考える。実技として呼吸体操、基礎発声、音階練習等の発声法の基礎を行う。そして歌詞と音楽の解釈を行いながら、歌唱技能の向上と指導法の工夫や改善方法について教員間で話し合いながら考えていく。	爲我井壽一（教育文化学部准教授）	秋田市(秋田大学)	平成28年8月11日(木) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校（音楽）、高校（音楽）	20人	18人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504202号	【選択】知恵の輪	遊びを通して数学を学ぶ、また、遊びに数学を見出すなどの活動は、算数・数学に対する関心・意欲・態度の育成を図る手立ての1つである。本講習はチャイニーズリングという知恵の輪をモデルに、小学校算数科、中学校及び高等学校数学科の教材としてそれぞれ開発することを目的として、制作・解き方の習熟及び教材開発の3段階構えで展開するものである。なお、知恵の輪を数学で捉えるとき、数え上げ、二進数及び数列という3つの方法を用いる。	杜威(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月11日(木) 9:00～16:00	6時間	教諭	小学校、特別支援、中学校(数学)、高校(数学)	12人	12人
平28-10012-504203号	【選択】知恵の輪	遊びを通して数学を学ぶ、また、遊びに数学を見出すなどの活動は、算数・数学に対する関心・意欲・態度の育成を図る手立ての1つである。本講習はチャイニーズリングという知恵の輪をモデルに、小学校算数科、中学校及び高等学校数学科の教材としてそれぞれ開発することを目的として、制作・解き方の習熟及び教材開発の3段階構えで展開するものである。なお、知恵の輪を数学で捉えるとき、数え上げ、二進数及び数列という3つの方法を用いる。	杜威(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月12日(金) 9:00～16:00	6時間	教諭	小学校、特別支援、中学校(数学)、高校(数学)	12人	12人
平28-10012-504205号	【選択】演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力の向上	・21世紀はグローバル化が一層進み、正解のない課題、経験したことがない課題と直面する時代。このような「多文化共生」時代を生きる子どもたちには、コミュニケーション能力の育成が極めて重要である。・演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力向上を目指し、教師自身が身体性や身体感覚を豊かにすることで、他者との関係づくりが進むことを体感する。そして、児童生徒のコミュニケーション能力を高める実践的な指導力を身に付ける。	根岸均(横手分校長) 栗城宏(非常勤講師)	仙北市(あきた芸術村)	平成28年8月12日(金) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	30人	30人
平28-10012-504206号	【選択】養護教諭に求められる今日的課題への対応	養護教諭が今日直面している課題の中から「学校力ワンセリング」、「発達障害児の理解」、「生活習慣病対策」、「学校における救急対応」、「健康相談活動について」をとりあげ、講義とワークショップによる修得を目指す。	奥山朝子(日本赤十字秋田看護大学教授) 斉藤和樹(日本赤十字秋田看護大学准教授) 磯崎富美子(日本赤十字秋田看護大学准教授) 高田由美(日本赤十字秋田看護大学准教授) 渡部泰斗(秋田県立医療療育センター)	秋田市(日本赤十字秋田看護大学)	平成28年8月15日(月)～ 平成28年8月16日(火) 9:30～17:00	12時間	養護教諭	養護教諭	30人	15人
平28-10012-504207号	【選択】ICTを活用した理科授業の構想	教科の学習目標を達成するために教師や児童生徒がICTを活用することを求められている。ここでは、理科の学習において、教員が授業の中で効果的に活用する方法や、児童生徒が授業やその前後で活用する方法を学ぶ。次に、ICTの活用場面を想定した教材や指導案を作成する。それらを受講者同士で互いに評価し合うことにより、実際の授業で生かせるものに仕上げる。	田口瑞穂(教育文化学部講師)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月16日(火)～ 平成28年8月17日(水) 9:30～17:00	12時間	教諭	小学校、中学校(理科)	10人	8人
平28-10012-504208号	【選択】食・食育を生物学から考えるー自ら食材を解剖・観察するー	食とは生き物をありがたいただくことである。食材を敬う「食育」を実践できるような教員の資質向上を目指し「食」を生物学の視点から解説する。なぜ食う食われるが成立するのか・消化や生きるとはどのようなことなのかを、生き物の起源、細胞の組成、栄養素および遺伝現象について学びとともに、実際に受講者自身で生き物の解剖と観察を行うことにより理解する。食物アレルギー問題、遺伝子組換え作物の安全性、地産地消等も扱う。	石井照久(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月18日(木)～ 平成28年8月20日(土) 9:30～16:30	18時間	教諭 栄養教諭	小学校、中学校(理科・技術・家庭)、高校(理科・家庭・情報・農業・工業・水産)、栄養教諭	14人	15人
平28-10012-504209号	【選択】指揮法の応用と課題解決	指揮法の基本的な型を確認・練習したのち、ベートーヴェン作曲『コリオラン』序曲をメインの教材として指揮実技の訓練を行います。この過程で各自の課題の改善を図ります。受講者は4台のピアノに分かれて片手でもいいのでピアノ用に編曲された同曲の演奏に参加して頂きます。ピアノはみんなで弾くので上手でなくても大丈夫です。指揮棒は各自持参可。安価なタイプの指揮棒は当日用意しておきます。試験は『コリオラン』の指揮です。	石原慎司(教育文化学部講師)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月18日(木) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(音楽)、高校(音楽)	12人	12人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504210号	【選択】大人が支えるインターネットセーフティを考える	PCのみならず、スマートフォン、ゲーム機等、携帯型ネット機器の普及により、子どもたちのインターネット利用はより身近になる一方、「ネットいじめ」や犯罪等のトラブルに巻き込まれる危険性が問題となっています。そこで、養護教諭や栄養教諭を含む学校関係者が、子どもたちのインターネット利用の問題を理解し、保護者や地域住民による子どもたちの健全なインターネット利用環境づくりのあり方について考えます。	浦野弘(教育文化学部教授) 森川勝栄(秋田県教育庁生涯学習課社会教育主事)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月18日(木) 9:30~17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	15人	15人
平28-10012-504211号	【選択】世界を変えた化学の発明	身の回りの物質を通して化学と人間生活とのかかわりについて理解を深めることが、中高理科における学習目標の一つとなっている。本講習では、現在の我々の生活を支えている化学物質を取り上げ、その発明の経緯と人間生活に与えた影響について学ぶことを目標とする。合成染料、窒素肥料、ガソリン、プラスチックなど、人間の生活様式を大きく変えるに至った物質について議論する。	清野秀岳(教育文化学部准教授)	大館市(大館市北地区コミュニティーセンター)	平成28年8月20日(土) 9:30~17:00	6時間	教諭	小学校、中学校(理科)、高校(理科・工業)	30人	5人
平28-10012-504213号	【選択】声と楽器を用いた多様な音楽実践と指導法	小学校音楽科で取り扱われている様々な領域の実践活動の土台となる「耳の育成」を目的とした内容を取り扱います。主に低学年と中学年を対象とし、声や打楽器を用いた音や音楽の表現・聴取活動を展開していくための基本的な知識を身につけ、多様な実践を体験していただきます。さらに音楽と他教科(国語、体育、図画工作)を融合させた応用的実践とその指導法も取り上げます。	吉澤恭子(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月20日(土) 9:30~17:00	6時間	教諭	小学校	12人	11人
平28-10012-504214号	【選択】遺伝子から学ぶ最先端生物学	生物学は、遺伝子の本体であるDNAの理解によって様変わりしました。遺伝子のレベルで生物学を説明することが大分可能になってきました。今回、遺伝子のレベルで説明する生物学の講義をまとめてみることにしました。遺伝子からDNA組換え技術、細胞や固体発生への理解、薬の開発法の新たな展開などの課題を遺伝子を中心に講義をします。当日、テキストを配布する予定です。	村口元(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科准教授) 村田純(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授) 王敏銘(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科准教授)	秋田市(秋田県立大学)	平成28年8月20日(土) 10:30~17:15	6時間	教諭	小学校、中学校(理科)、高校(理科・農業)	20人	4人
平28-10012-504215号	【選択】教師の算数的活動	算数的活動とは、児童が目的意識を持って主体的に取り組む算数にかかわりのある様々な活動を意味する。具体的には「考える」「調べる」「比べる」「表す」「使う」「振り返る」といった活動であり、それらが算数を学ぶ楽しさ、自ら算数を学び続けていくことにつながる。活動から学びへの一連の意識的なプロセスの形成には、それをデザインする教師の経験が重要である。本講習では、児童の算数的思考力を育む良問を分析し、授業化を検討していく。	田中誠祐(教育学研究科准教授) 佐藤学(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月25日(木) 9:30~17:00	6時間	教諭	小学校、中学校(数学)	20人	16人
平28-10012-504216号	【選択】英語教材研究の視点	本講座では、英語授業の準備を行う際の教材研究の視点について考察する。特に、OECDのPISA調査で指摘された、日本人学習者の問題点の一つである読解力を身につけさせるために、どのようなことが求められているのかについて、実際に読解のタスクを体験してもらいながら考えていく予定である。	若有保彦(教育文化学部准教授)	横手市(サンサン横手)	平成28年8月27日(土) 9:30~17:00	6時間	教諭	中学校(英語)、高校(英語)	20人	9人
平28-10012-504218号	【選択】小・中学校の作文評価法研修	全米学力調査NAEPの文章類別「P:説得」について、児童・生徒が書いた作文の分析を通して、多観点3段階の「評価基準」の設定と、該当例文の選定を行い、妥当性・信頼性の高い作文評価能力の習得を目指します。	成田雅樹(教育文化学部教授)	横手市(サンサン横手)	平成28年8月27日(土) 9:30~17:00	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(国語)	20人	13人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504220号	【選択】学校文化と教師	この講習では、現代の日本における学校と教師について、社会学、教育社会学などの議論をもとに、教員の多忙化、学校と塾との連携、専門職としての教師、教育格差などの問題を取り上げて、考えていきます。学校と教師について「当然」と思われていることを、それらを現代社会のなかに位置づけとらえることで、批判的、自省的な視点から見つめ直すことができるようになることを目的とします。	和泉浩(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月27日(土)～平成28年8月28日(日) 9:30～17:00	12時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	40人	29人
平28-10012-504212号	【選択】世界を変えた化学の発明	身の回りの物質を通して化学と人間生活とのかかわりについて理解を深めることが、中高理科における学習目標の一つとなっている。本講習では、現在の我々の生活を支えている化学物質を取り上げ、その発明の経緯と人間生活に与えた影響について学ぶことを目標とする。合成染料、窒素肥料、ガソリン、プラスチックなど、人間の生活様式を大きく変えるに至った物質について議論する。	清野秀岳(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月27日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校(理科)、高校(理科・工業)	30人	7人
平28-10012-504217号	【選択】英語教材研究の視点	本講座では、英語授業の準備を行う際の教材研究の視点について考察する。特に、OECDのPISA調査で指摘された、日本人学習者の問題点の一つである読解力を身につけさせるために、どのようなことが求められているのかについて、実際に読解のタスクを体験してもらいながら考えていく予定である。	若有保彦(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月28日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	中学校(英語)、高校(英語)	20人	8人
平28-10012-504219号	【選択】小・中学校の作文評価法研修	全米学力調査NAEPの文章類別「P:説得」について、児童・生徒が書いた作文の分析を通して、多観点3段階の「評価基準」の設定と、該当例文の選定を行い、妥当性・信頼性の高い作文評価能力の習得を目指します。	成田雅樹(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月28日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(国語)	20人	15人
平28-10012-504221号	【選択】数学の応用：暗号技術	ユークリッドの互除法、最大公約数、最小公倍数について復習し、合同式の計算とフェルマーの定理を理解する。それらを活用する公開鍵暗号とネットワークセキュリティの基礎について学び、暗号化、復号と多項式時間へき乗計算を身に付ける。	山村明弘(理工学研究科教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年8月28日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	高校(数学・情報)	20人	2人
平28-10012-504154号	【選択】特別支援教育－障害児の教育Ⅲ－	我が国は、国連の「障害者の権利に関する条約」に批准し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築をめざしています。講習では、インクルーシブ教育の理念、求められる合理的配慮と基礎的環境整備、今後学校教育に求められる取組について、演習を交えながら考えていきます。	藤井慶博(教育学研究科准教授)	横手市(秋田県立近代美術館)	平成28年9月3日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	50人	49人
平28-10012-504222号	【選択】科学技術の進歩とエネルギー－医療と産業での放射線利用技術－	最新の科学技術とエネルギーが小中高の理科の学習内容とされている。これらの例として、中高の教科書には、医療や産業における放射線の利用が取り上げられている。本講習では、放射線についてその基礎から応用について学び、理解を深めることを目標とする。研修項目、1.放射線の物理・化学的性質 2.身の回りの放射線 3.放射線の人体への影響 4.工業、農業での放射線の利用 5.医療における放射線の利用	岩田吉弘(教育文化学部教授)	横手市(サンサン横手)	平成28年9月3日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校(理科・技術)、高校(理科・工業)	20人	8人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504223号	【選択】科学技術の進歩とエネルギー—原子力エネルギーの利用—	最新の科学技術とエネルギーが小中高の理科の学習内容とされている。これらの例として、中高の教科書には、原子力発電や放射性廃棄物などが取り上げられている。本講習では、原子力エネルギーの利用についてその基礎から応用について学び、理解を深めることを目標とする。研修項目、1.臨界現象と原子力炉 2.原子力発電のしくみ 3.核燃料と再処理 4.プルトニウム利用と高速増殖炉 5.放射性廃棄物の処理処分	岩田吉弘(教育文化学部教授)	横手市(サンサン横手)	平成28年9月4日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校(理科・技術)、高校(理科・工業)	20人	11人
平28-10012-504224号	【選択】生物分野の実験教材を体得する	現在の実験教材は、生物分野の教材研究を行う際に時間的・技術的・設備的制約が多く、十分な教材研究が行われているとは言えない状況にある。特に小学校教育の現場では、理科の実験を不得意とする教員が少なからず存在する。そこで本講座では、小・中・高の教育現場における生物分野の教材を受講者に実際に体得してもらう。具体的には、顕微鏡を用いた教材作り・解剖教材作り・デジタル教材作りなどを体得してもらう。	石井照久(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年9月10日(土)、 平成28年9月17日(土)、 平成28年9月18日(日) 9:30～16:30	18時間	教諭	小学校、中学校(理科・技術・家庭)、高校(理科・家庭・情報・農業・工業・水産)	14人	0人
平28-10012-504225号	【選択】学校づくりと教職員の課題	主に学校経営に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒と親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的、制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤修司(教育学研究科教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年9月10日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	15人	15人
平28-10012-504227号	【選択】初等整数論とその応用	整数全体 $\{\dots, -2, -1, 0, 1, 2, \dots\}$ に関する基本原理から出発し、既知な事柄(素因数分解とその一意性、ピタゴラスの定理の自然数解全体)や発展的話題(合同式を用いたRSA暗号等)について考察し理解を深める。また、整数全体が環という数学の対象の一つの例であることを紹介し、慣れ親しんだ計算方法について環の定義・性質から考察する。	大内将也(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年9月10日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校(数学)、高校(数学)	10人	6人
平28-10012-504228号	【選択】古典文学概説	小倉百人一首を素材としながら、代表的な歌の鑑賞とその文化的・文学史的背景などについてを解説する。また、古典世界における和歌の位置づけや、時代によって変化する解釈の問題などについても言及する。授業は講義形式を基本とするが、適宜、図書館での調査活動、グループ活動などを取り入れて展開する。	志立正知(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年9月10日(土) 9:30～16:40	6時間	教諭	小学校、特別支援、中学校(国語)、高校(国語)	24人	20人
平28-10012-504143号	【選択】美術教育における題材体験(平面)	美術教育における平面の様々な表現を体験して、児童・生徒の関心・意欲・態度を高め、表現する力を伸ばす指導力を身に付ける。併せて題材を開発する力を身につける。	長瀬達也(教育学研究科教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年9月10日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(美術)、高校(美術)	12人	12人
平28-10012-504229号	【選択】教育のなかの新聞とメディア・リテラシー	この講習では、学校の教育に取り入れられるようになっている「新聞」について、メディア論や社会学での研究をもとに、そのメディアとしての特性や教育で取り上げることの問題点、「メディア・リテラシー」の背景にあるメディアの考え方などを受講者とともに考えていきます。このことをとおして、教育のなかでの新聞などのメディアの利用について、各受講者がみずから考えられるようになることを目標とします。	和泉浩(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年9月11日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科	20人	19人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504230号	【選択】保育内容の基礎と実践(幼児造形・幼児と自然・幼児理解)	子どもと自然、幼児造形、遊びなどの視点から、保育における発達や援助の方法、環境構成などについて学びを深める。	永井博敏(聖園学園短期大学学生部長・教授) 小笠原京子(聖園学園短期大学教授) 猿田興子(聖園学園短期大学講師) 蛭田一美(聖園学園短期大学講師)	秋田市(聖園学園短期大学)	平成28年9月18日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園	60人	49人
平28-10012-504232号	【選択】現代社会と家庭	幼稚園教諭を対象に保護者の置かれている現状を理解し、その支援に役立てる内容としたい。そのために、最近の家庭の現状を理解し、その対応を探りつつ、相談援助に役立つ内容とする。講義、演習などにより、現代の社会における様々な病理、児童虐待、DVなどにおける支援を取り上げ、困難にある保護者に対する個人としての、また、園としての支援を探りたい。	藤原法生(聖園学園短期大学講師) 佐々木久仁明(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田市(聖園学園短期大学)	平成28年9月18日(日) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭	幼稚園	60人	43人
平28-10012-504231号	【選択】保育内容の基礎と実践(幼児造形・幼児と自然・幼児理解)	子どもと自然、幼児造形、遊びなどの視点から、保育における発達や援助の方法、環境構成などについて学びを深める。	永井博敏(聖園学園短期大学学生部長・教授) 小笠原京子(聖園学園短期大学教授) 猿田興子(聖園学園短期大学講師) 蛭田一美(聖園学園短期大学講師)	秋田市(聖園学園短期大学)	平成28年9月19日(月) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園	60人	53人
平28-10012-504233号	【選択】現代社会と家庭	幼稚園教諭を対象に保護者の置かれている現状を理解し、その支援に役立てる内容としたい。そのために、最近の家庭の現状を理解し、その対応を探りつつ、相談援助に役立つ内容とする。講義、演習などにより、現代の社会における様々な病理、児童虐待、DVなどにおける支援を取り上げ、困難にある保護者に対する個人としての、また、園としての支援を探りたい。	藤原法生(聖園学園短期大学講師) 佐々木久仁明(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田市(聖園学園短期大学)	平成28年9月19日(月) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭	幼稚園	60人	47人
平28-10012-504234号	【選択】地域づくりワークショップ	地域づくりに関する講義とワークショップをおこなう。具体的には、秋田県下で展開している地域づくり活動、地域資源活用と住民との関与について解説するとともに、児童・生徒の地域社会への寄与の可能性について議論する。また、講義会場近くの農村現場(八郎潟町予定)において合意形成手法としてのワークショップを体験実施し、その習得を目指す。本講習は、中・高等学校における総合学習、幼稚園・小学校・特別支援学校における地域社会とのふれあい学習などでの活用寄予することを目的とする。	荒樋豊(秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科教授) 渡辺千明(秋田県立大学木材高度加工研究所准教授)	大潟村(秋田県立大学)、八郎潟町	平成28年9月24日(土)～ 平成28年9月25日(日) 9:00～17:00	12時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科	20人	19人
平28-10012-504235号	【選択】危機管理と教職員の課題	学校における危機管理に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的、制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤修司(教育学研究科教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年9月24日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	15人	15人
平28-10012-504237号	【選択】サイエンスコミュニケーションと学校教育	学校現場に入り込んでくる疑似科学を見抜く力を身につけることは、教員として大切なことです。また子供たちだけでなく保護者との円滑なコミュニケーションを行う力を養うことも重要です。本講習では近年注目されているサイエンスコミュニケーションについて、その理論と実践を学びます。特に理論を知ることで科学リテラシーを高め、実践を通してコミュニケーション力を鍛えるきっかけとなるような講習にしたいと考えています。	上田晴彦(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年9月25日(日) 10:00～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科	20人	19人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504238号	【選択】環境問題のとりえ方	この講習では、環境問題について「環境と社会との関係」から考えていく環境社会学の考え方を説明し、どのように環境問題や、自然と社会との関係、自然を活用した観光としての「グリーンツーリズム」などについてとらえることができるのかを考えていきます。また、環境問題についての考え方は他の社会問題についても応用できるため、この講習をとおして、社会問題についての社会的な考え方をも身につけてもらうことを目標とします。	和泉浩(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年10月1日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科	20人	20人
平28-10012-504239号	【選択】色彩デザイン・色彩構成の基礎	「色彩」は、「かたち」や「素材」と並んで、デザイン・造形表現を行う上で最も基礎的な要素として位置づけられます。したがってその運用手法の習得は、美術教育や造形表現活動に携わる上で不可欠といえます。このような観点から本講義では、デザイン・造形表現における基礎的な色彩の扱い方の習得を目的に、 (1)「色彩理論」・「色彩システム」の考え方のポイント (2)それに基づく具体的な「配色方法」の2点から、実習を交えながら扱っていきます。	石井宏一(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年10月1日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校(美術)、高校(美術)	20人	19人
平28-10012-504240号	【選択】特別支援教育―障害児の教育I―	障害児の教育は「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換してから久しいが、教員には、「特別支援教育」の充実・発展に向けて、より一層の実践力及び専門性が求められている。その一助となることを期待し、本講習では、障害児教育に至る歴史及び国際動向を踏まえ、特別支援教育の内容や方法について学ぶ。	大城英名(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年10月8日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	50人	49人
平28-10012-504241号	【選択】地理学的な調べ方・考え方・まとめ方を学ぶ	地理学的な調べ方・考え方・まとめ方について、生産関係の地理学、生活背景の地理学、地域イメージの地理学、地形図・空中写真・地理(景観)写真の活用基礎、野外観察実習、「風土産業」等を通じて学び、また、「地理」学習・授業上の工夫・問題点を受講者間で討論・意見交換する。	篠原秀一(教育文化学部教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年10月8日(土)～ 平成28年10月10日(月) 9:30～17:00	18時間	教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴・公民)	12人	8人
平28-10012-504242号	【選択】小学校理科の野外実習(流水の働き)	小学校理科第5学年「流水の働き」、中学校理科第2分野の地層の単元の指導にあたり、風化作用、侵食・運搬・堆積の各作用についての理解が必要である。本講習ではこれらの作用について教員が正しい認識を深めることを目的とする。このため、川などにおける流水の働きに関する野外実習とモデル実験、科学的な原理と児童生徒の認識の実態についての講義を行う。	川村教一(教育文化学部教授) 田口瑞穂(教育文化学部講師)	大仙市(大仙市民会館 ドンパル)	平成28年10月15日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(理科)、高校(理科)	20人	6人
平28-10012-504243号	【選択】化学分析を用いた土壌に含まれる植物養分の測定	講義(植物栄養学の概論・植物における窒素栄養について・化学分析(吸光度の測定)に関して)、実験(予め準備した土壌(窒素栄養条件を変えたもの)から、無機態窒素を抽出し、抽出液の吸光度の測定結果から土壌に含まれる無機態窒素量を計算する)。	中村進一(秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科准教授)	秋田市(秋田県立大学)	平成28年10月29日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	高校(理科・農業)	10人	0人
平28-10012-504165号	【選択】美術教育における鑑賞学習	美術教育における鑑賞学習の指導力を身に付けるために、鑑賞学習の基礎的な知識を身に付け、さらに美術館での鑑賞を体験する。そして、鑑賞学習の授業案を作成する。特に児童・生徒の関心・意欲・態度を高めることを主眼とする。	長瀬達也(教育学研究科教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年10月29日(土) 9:30～17:30	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校(美術)、高校(美術)	16人	13人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(選択領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の日時	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数	認定者数
平28-10012-504179号	【選択】総合的な学習の時間と地域創生「食と文化」	総合的な学習の時間を充実させるために、地域の伝統的な食文化や史跡などの教材化を通して、授業力の向上を図る。当日は、秋田内陸縦貫鉄道とその沿線地域から地域課題を設定し、地域課題解決のためのフィールドワーク及び教材開発に関する講義・試験が主な内容となる。	濱田純(北秋田分校長)	北秋田市(北秋田市交流センター他)	平成28年11月5日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科	30人	29人
平28-10012-504244号	【選択】現代社会における学校・教育と不平等・格差	教育と学校における階層の「再生産」や不平等、また社会における不平等に関する社会学や政治学、経済学、哲学などの文献を読みながら、現代社会の特性と、そのなかでの学校と教育、階層、不平等、格差の問題について考えていきます。教育での不平等の問題に限定せず、平等とはどのようなことなのか、という問題について、さまざまな考え方を知ることをこの講習の目標にします。	和泉浩(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年11月19日(土)～ 平成28年11月20日(日) 9:30～17:00	12時間	教諭 養護教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭	20人	19人
平28-10012-504226号	【選択】学校づくりと教職員の課題	主に学校経営に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的、制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤修司(教育学研究科教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年11月26日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	15人	15人
平28-10012-504236号	【選択】危機管理と教職員の課題	学校における危機管理に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的、制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤修司(教育学研究科教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年12月3日(土) 9:30～17:00	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	15人	14人
平28-10012-504245号	【選択】学校、家庭、地域の連携協力の実践と分析	学校、家庭、地域の連携協力による子どもの教育、学習支援が目指すものは何か、その具体的な取り組みはどのように行われているか、その課題は何か、それぞれが配慮すべきことは何かについて考える。具体的には、秋田県内外の学校支援地域本部事業、放課後子ども教室、コミュニティスクール、健康・安全教育、PTA活動、校外指導等の実践をいくつか取り上げて分析、検討する。	原義彦(教育学研究科教授) 佐々木伸一(秋田県教育庁中央教育事務所主任社会教育主事)	秋田市(秋田大学)	平成28年12月10日(土) 9:00～16:30	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園、小学校、特別支援学校、中学校全教科、高校全教科、養護教諭、栄養教諭	25人	25人
平28-10012-504198号	【選択】リスクで考える環境問題	化学物質汚染や自然災害など様々な環境問題に対する不適切な判断(無関心、過剰な怖れや期待など)が、個人や学校あるいは社会に影響を与えることがあります。講習では確率の概念である「リスク」をものさしとして、科学的で適切な判断をするための方法を学びます。総合学習や日常生活指導などにおいて、自律した冷静な判断を促すほか、科学への関心を高めるのに役立ちます。なお、本講習は参加型の講義形式(アクティブラーニング)で行います。	金澤伸浩(秋田県立大学システム科学技術学部経営システム工学科准教授)	秋田市(カレッジプラザ)	平成28年12月23日(金) 9:30～17:00	6時間	教諭	小学校、中学校全教科、高校全教科	25人	24人
平28-10012-504193号	【選択】実験で学ぶ生物の遺伝子DNA―自らDNAを抽出する―	遺伝子DNAは、医療現場・個人の遺伝情報管理・食品の産地や遺伝子組換えのチェック・犯罪捜査と親子鑑定・考古学等への利用、など日常生活・食生活および食育で非常に身近な存在となっていて、その理解を深めることは全校種、全教科で必要かつ重要である。また簡易DNA抽出法を伝授するので教育現場での実践が可能となる。(主な内容:簡易DNA抽出法の体得、精密な抽出と解析技術の体験、日常生活での利用法の理解)	石井照久(教育文化学部准教授)	秋田市(秋田大学)	平成28年12月26日(月)～ 平成28年12月28日(水) 9:30～16:30	18時間	教諭 栄養教諭	小学校、中学校(理科・技術・家庭)、高校(理科・家庭・情報・農業・工業・水産)、栄養教諭	16人	16人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表（選択必修領域）

認定番号	講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	主な受講対象者			受講人数	受講者数
								学校種	免許職種、教科等	職務経歴等		
平28-10012-300794号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅰ（幼・小コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、次期改訂の最新事情も併せて解説する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況を意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の実践と理論が可能となる。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 廣嶋徹(大学院教育学研究科特別教授)	大仙市 (秋田県立農業科学館)	平成28年6月19日(日) 9:00～16:30	6時間	幼稚園 小学校	特定しない	特定しない	40人	40人
平28-10012-300800号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅲ（中・高コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」について理解を深めるとともに次期改訂の最新事情についても理解する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働等からいくつかの課題について、それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	大仙市 (秋田県立農業科学館)	平成28年6月19日(日) 9:00～16:30	6時間	中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	20人	14人
平28-10012-300798号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅱ（小学校コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」では、学習指導要領の次期改訂の最新事情も併せて解説する。また、「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、小・フロブレムやいじめ・不登校問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働等からいくつかの課題について、それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、諸課題への対応力を向上させる。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	秋田市 (秋田大学)	平成28年7月10日(日) 9:00～16:30	6時間	小学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	70人	24人
平28-10012-300801号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅲ（中・高コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」について理解を深めるとともに次期改訂の最新事情についても理解する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働等からいくつかの課題について、それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	秋田市 (秋田大学)	平成29年7月10日(日) 9:00～16:30	6時間	中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	50人	49人
平28-10012-300795号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅰ（幼・小コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、次期改訂の最新事情も併せて解説する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況を意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の実践と理論が可能となる。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	横手市 (横手セントラルホテル)	平成28年7月29日(金) 9:00～16:30	6時間	幼稚園 小学校	特定しない	特定しない	70人	51人
平28-10012-300802号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅲ（中・高コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」について理解を深めるとともに次期改訂の最新事情についても理解する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働等からいくつかの課題について、それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	横手市 (横手プラザホテル)	平成28年7月29日(金) 9:00～16:30	6時間	中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	60人	41人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表（選択必修領域）

認定番号	講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	主な受講対象者			受講人数	受講者数
								学校種	免許職種、教科等	職務経歴等		
平28-10012-300796号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅰ（幼・小コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、次期改訂の最新事情も併せて解説する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況を意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の実践と理論が可能となる。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	大館市 (ホテルクラウンパレス秋北)	平成28年8月3日(水) 9:00～16:30	6時間	幼稚園 小学校	特定しない	特定しない	70人	29人
平28-10012-300803号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅲ（中・高コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」について理解を深めるとともに次期改訂の最新事情についても理解する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働等からいくつかの課題について、それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	大館市 (リネサンスガーデン・ブラザ杉の子)	平成28年8月3日(水) 9:00～16:30	6時間	中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	50人	37人
平28-10012-300799号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅱ（小学校コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」では、学習指導要領の次期改訂の最新事情も併せて解説する。また、「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、小・フロブレムやいじめ・不登校問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働等からいくつかの課題について、それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、諸課題への対応力を向上させる。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	秋田市 (秋田大学)	平成28年8月16日(火) 9:00～16:30	6時間	小学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	70人	55人
平28-10012-300804号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅲ（中・高コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」について理解を深めるとともに次期改訂の最新事情についても理解する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働等からいくつかの課題について、それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	秋田市 (秋田大学)	平成28年8月16日(火) 9:00～16:30	6時間	中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	50人	50人
平28-10012-300797号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅰ（幼・小コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、次期改訂の最新事情も併せて解説する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況を意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の実践と理論が可能となる。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	秋田市 (秋田大学)	平成28年11月13日(日) 9:30～16:30	6時間	幼稚園 小学校	特定しない	特定しない	70人	42人
平28-10012-300805号	【選択必修】学校現場に即した実践と理論Ⅲ（中・高コース）	学校を巡る近年の状況の変化 学習指導要領の改訂の動向等	「学習指導要領の改訂の動向等」について理解を深めるとともに次期改訂の最新事情についても理解する。「学校を巡る近年の状況の変化」では、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。その後ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働等からいくつかの課題について、それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	神居隆(大学院教育学研究科教授) 田中誠祐(大学院教育学研究科准教授) 古内一樹(大学院教育学研究科特別教授) 千葉圭子(大学院教育学研究科准教授) 山岡正典(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授) 関谷美佳子(大学院教育学研究科准教授) 茂木達彦(教育文化学部附属教育実践研究支援センター客員教授)	秋田市 (秋田大学)	平成28年11月13日(日) 9:30～16:30	6時間	中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	50人	26人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表（選択必修領域）

認定番号	講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	主な受講対象者			受講人数	受講者数
								学校種	免許職種、教科等	職務経歴等		
平28-10012-300806号	【選択必修】学校カウンセリングの実際の問題について	教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）	「児童・生徒との関わりに対して今までとは違った視点を持つこと」をテーマとし、実習や事例検討、グループワークなどを通して、自分自身の児童・生徒の見方についての理解を深めたり、対応に困っている事例に対して、それまでとは異なる関わり方や視点を持つための方法について学んでいきたいと思います。そのため参加者の方には、これまで学校で関わってきた事例を提供していただく場合があります。	柴田健（教育文化学部教授） 清水貴裕（教育文化学部准教授）	秋田市 (秋田大学)	平成28年6月4日(土) 9:30～17:00	6時間	小学校 中学校	教諭、養護 教諭	特定しない	20人	11人
平28-10012-300808号	【選択必修】幼児期の「発達」と「教育」	学校を巡る近年の状況の変化	発達理解を基盤とした幼児期にふさわしい教育のあり方を考察する。特に発達過程の質的把握、「結果としての」発達、ということを考え、それをもとに実践を省察することを目指す。また子どもを取り巻く状況の変化をふまえた上で、集団生活の中での子どもの具体的な姿から、幼児期特有の「発達」と「教育」についての理解を深める。	山名裕子（教育文化学部准教授）	秋田市 (秋田大学)	平成28年6月4日(土) 9:30～17:00	6時間	幼稚園	教諭	特定しない	50人	48人
平28-10012-300809号	【選択必修】教育と男女共同参画社会	進路指導及びキャリア教育	この講義では、女子高校生の大学進学率が低い傾向、理系分野で女性が少ない状況、特定の職業に特定の性別が多い状態、子どもの貧困と女性の就労、雇用条件などとの関連など、教育と進路選択、キャリア形成にかかわる問題をとりあげながら、ジェンダーの基本的な考え方とともに、「男女共同参画社会基本法」などで用いられている「ポジティブ・アクション」について説明し、学校教育が男女共同参画社会へ向けた取り組みのなかで、どのような役割をはたしていけるのかを考えていきます。	和泉浩（教育文化学部准教授）	秋田市 (秋田大学)	平成28年6月11日(土) 9:30～17:00	6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	20人	20人
平28-10012-300810号	【選択必修】幼児期の「教育」と「保育」	学校を巡る近年の状況の変化	幼児教育をめぐる新制度や、保育の長時間化・長期間化という近年の状況の変化をとらえ、現代の保育の課題を探索。特に、新制度下での保育者の保育観や教育観などを調査等によって把握し、幼児期にふさわしい教育のあり方を、「教育」「保育」をキーワードとして考察する。考察では養護と教育の一体化、ケアと教育の関係について考え、それをもとに実践を省察することを目指す。	奥山順子（教育文化学部教授）	秋田市 (秋田大学)	平成28年6月18日(土) 9:30～17:00	6時間	幼稚園	教諭	特定しない	50人	50人
平28-10012-300811号	【選択必修】道徳教育の方向性と課題	道徳教育	平成27年に学校教育法施行規則が改正され、「道徳」が「特別の教科である道徳」になり、また、学習指導要領も一部改正された。その背景について国の審議会の状況等をふまえつつ整理し、道徳教育の現状と課題等について検討する。その上で、「道徳の時間（特別の教科 道徳）」の学習指導案の作成を通して、「考え」、「議論する」授業展開のあり方について検討する。	小池孝範（教育文化学部准教授）	秋田市 (秋田大学)	平成28年6月19日(日) 9:30～17:00	6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	20人	19人
平28-10012-300807号	【選択必修】学校カウンセリングの実際の問題について	教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）	「児童・生徒との関わりに対して今までとは違った視点を持つこと」をテーマとし、実習や事例検討、グループワークなどを通して、自分自身の児童・生徒の見方についての理解を深めたり、対応に困っている事例に対して、それまでとは異なる関わり方や視点を持つための方法について学んでいきたいと思います。そのため参加者の方には、これまで学校で関わってきた事例を提供していただく場合があります。	柴田健（教育文化学部教授） 清水貴裕（教育文化学部准教授）	秋田市 (秋田大学)	平成28年7月2日(土) 9:30～17:00	6時間	小学校 中学校	教諭、養護 教諭	特定しない	20人	20人
平28-10012-300813号	【選択必修】特別支援教育－発達障害児の理解と支援－	学校を巡る近年の状況の変化	障害児の教育は「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指導の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の実践力及び専門性が求められている。その一助となることを期待し、本講習では、学校における「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら具体的な支援方略について学ぶ。	鈴木徹（教育文化学部講師）	横手市 (秋田県立近代美術館)	平成28年7月16日(土) 9:30～17:00	6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	50人	40人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表（選択必修領域）

認定番号	講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	主な受講対象者			受講人数	受講者数
								学校種	免許職種、教科等	職務経験等		
平28-10012-300816号	【選択必修】小学校外国語活動	英語教育	小学校英語教育の動向について、講義や演習を通して理解を深める。次に、改革の方向性を踏まえた指導の在り方について、特にA L TとのTeam Teachingを効果的に実施するためのポイントや担任の英語使用（教室英語）の在り方に焦点を当て、講義・演習・実技を行う。最終的には、これらの要素を反映させた授業のデモンストレーション（A L TとのTeam Teaching）を行う。	関谷美佳子（大学院教育学研究科准教授）	秋田市（秋田大学）	平成28年7月16日（土） 9:30～17:00	6時間	小学校	教諭	特定しない	12人	3人
平28-10012-300817号	【選択必修】小学校外国語活動	英語教育	小学校英語教育の動向について、講義や演習を通して理解を深める。次に、改革の方向性を踏まえた指導の在り方について、特にA L TとのTeam Teachingを効果的に実施するためのポイントや担任の英語使用（教室英語）の在り方に焦点を当て、講義・演習・実技を行う。最終的には、これらの要素を反映させた授業のデモンストレーション（A L TとのTeam Teaching）を行う。	関谷美佳子（大学院教育学研究科准教授）	秋田市（秋田大学）	平成28年7月23日（土） 9:30～17:00	6時間	小学校	教諭	特定しない	12人	0人
平28-10012-300818号	【選択必修】健康関連データの解析	教育の情報化（情報通信技術を利用した指導及び情報教育（情報モラルを含む。）等）	学校保健活動の最前線にいる養護教諭の方々は種々の健康関連データを所有している。しかし、日常業務に追われて、それらのデータを活用して今後の学校保健活動に役立てようという時間をなかなか持てないのが現状のように思われる。本講習では、情報モラルを含め養護教諭が児童生徒に向けてプレゼンテーションをするためにこれらの学校で保有する健康等の特に数値データを分析する際の基本的な統計技術とそのプレゼンテーション資料の作成について講義・演習する。	高崎裕治（教育文化学部教授）	秋田市（秋田大学）	平成28年8月3日（水） 9:30～17:00	6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	養護教諭	特定しない	10人	8人
平28-10012-300819号	【選択必修】異文化コミュニケーション	国際理解及び異文化理解教育	国際（異文化）理解教育の指導に重要な事柄を講義およびグループワークで確認していく。取り上げる要素は（１）国際理解教育で何を教えるべきか（２）多文化共生の観点から見た国際理解教育（３）自文化中心主義に陥らない指導方法（４）外部資源の活用方法である。	宮本律子（国際資源学研究科教授）	秋田市（秋田大学）	平成28年8月4日（木） 9:30～17:00	6時間	中学校 高等学校	中学校（英語）、高校（英語）	特定しない	20人	10人
平28-10012-300814号	【選択必修】特別支援教育－発達障害児の理解と支援－	学校を巡る近年の状況の変化	障害児の教育は「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指導の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の実践力及び専門性が求められる。その一助となることを期待し、本講習では、学校における「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら具体的な支援方略について学ぶ。	鈴木徹（教育文化学部講師）	北秋田市（北秋田市交流センター）	平成28年8月10日（水） 9:30～17:00	6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	40人	39人
平28-10012-300815号	【選択必修】特別支援教育－発達障害児の理解と支援－	学校を巡る近年の状況の変化	障害児の教育は「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指導の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の実践力及び専門性が求められる。その一助となることを期待し、本講習では、学校における「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら具体的な支援方略について学ぶ。	鈴木徹（教育文化学部講師）	秋田市（秋田大学）	平成28年8月19日（金） 9:30～17:00	6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	50人	50人
平28-10012-300820号	【選択必修】養護教諭の役割と思春期における児童・生徒の健康問題の理解と対応	学校を巡る近年の状況の変化 様々な問題に対する組織的対応の必要性	養護教諭の役割や専門性を確認し、演習を通じて学校現場における課題の整理を行い、効果的な健康相談活動や保健室経営につなげる。また、思春期の健康課題の中から、性の問題と性教育の進め方、薬物・自傷行為・ゲームやネット依存問題などへの理解と対応について学び実践にいかすことを目指す。	熊澤由美子（大学院医学系研究科講師） 成田好美（大学院医学系研究科講師） 小笹典子（日本赤十字秋田看護大学非常勤講師）	秋田市（秋田大学本道キャンパス）	平成28年9月3日（土） 9:30～17:00	6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	養護教諭	特定しない	30人	8人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表（選択必修領域）

認定番号	講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	主な受講対象者			受講人数	受講者数
								学校種	免許職種、 教科等	職務経験等		
平28- 10012- 300821号	【選択必修】進路指導及びキャリア教育を学校生活に接続する	進路指導及びキャリア教育	「自己理解」「周囲との関係や役割、協力の必要性の理解」「学校生活と将来・社会との接続」「啓発的体験」等のキャリア教育に関するテーマについて、各種ワークやグループディスカッションも活用して総合的に理解・実践できることを目指す。	渡部昌平（秋田県立大学総合科学教育研究センター准教授）	秋田市 (秋田県立大学)	平成28年9月11日(日) 9:30～17:00	6時間	小学校 中学校 高等学校	教諭	特定しない	40人	17人
平28- 10012- 300812号	【選択必修】道徳教育の方向性と課題	道徳教育	平成27年に学校教育法施行規則が改正され、「道徳」が「特別の教科である道徳」になり、また、学習指導要領も一部改正された。その背景について国の審議会の状況等をふまえつつ整理し、道徳教育の現状と課題等について検討する。その上で、「道徳の時間（特別の教科 道徳）」の学習指導案の作成を通して、「考え」、「議論する」授業展開のあり方について検討する。	小池孝範（教育文化学部准教授）	秋田市 (秋田大学)	平成28年9月18日(日) 9:30～17:00	6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	20人	20人
平28- 10012- 300822号	【選択必修】いじめ・不登校への対応について	教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）	これまでに集積してきた事例の幾つかのパターンについてのケーススタディを実施する。特に重篤な不登校（引きこもり）の場合、その原因や対応法についてロールプレイを行いながら実際の対応の仕方について客観的な評価を得ることができるよう振り返りシートなどで整理する。	神居隆（大学院教育学研究科教授） 工藤正孝（大学院教育学研究科客員教授）	秋田市 (秋田大学)	平成28年10月8日(土) 9:30～17:00	6時間	小学校 中学校	教諭、養護 教諭	特定しない	20人	12人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表(必修領域)

認定番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	会場	講習の日時	時間数	受講人数	認定者数
平28-10012-100357号	【必修】教育事情の動向	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について理解を深め、教員として十分な知識技能を有しているか確認し、新たに必要とされる知識技能の獲得を目指す。講義は教育に関わる最新の制度、政策、理論の動向を扱うとともに、教育実践・臨床に関わる具体的な諸問題を取り上げ、受講者参加型の実施形態を目指し、ワークショップも設けて行う。	佐藤 修司（大学院教育学研究科 教授） 原 義彦（大学院教育学研究科 教授） 小池 孝範（教育文化学部 准教授） 浦野 弘（教育文化学部 教授） 細川 和仁（教育文化学部 准教授） 鈴木 翔（理工学学術研究科 助教） 小林 建一（元聖園学園短期大学保育科 教授） 遠藤 秀弘（国際教養大学国際教養学部 准教授） 森 和彦（教育文化学部 教授） 宮野 素子（教育文化学部 准教授） 中野 良樹（教育文化学部 准教授） 北島 正人（教育文化学部 准教授） 佐藤さゆ里（南かがやき教室 教育相談員）	大仙市 (秋田県立農業科学館)	平成28年6月18日(土) 9:00~16:30	6時間	80人	80人
平28-10012-100358号	【必修】教育事情の動向			秋田市 (秋田大学)	平成28年7月9日(土) 9:00~16:30	6時間	160人	158人
平28-10012-100359号	【必修】教育事情の動向			横手市 (横手セントラルホテル、横手プラザホテル)	平成28年7月28日(木) 9:00~16:30	6時間	160人	159人
平28-10012-100360号	【必修】教育事情の動向			大館市 (ホテルクラウンパレス秋北、ルネサンスガーデン・プラザ杉の子)	平成28年8月2日(火) 9:00~16:30	6時間	160人	121人
平28-10012-100361号	【必修】教育事情の動向			秋田市 (秋田大学)	平成28年8月17日(水) 9:00~16:30	6時間	160人	158人
平28-10012-100362号	【必修】教育事情の動向			秋田市 (秋田大学)	平成28年9月17日(土) 9:00~16:30	6時間	160人	78人
平28-10012-100363号	【必修】教育事情の動向			秋田市 (秋田大学)	平成28年11月12日(土) 9:00~16:30	6時間	160人	81人

平成28年度秋田大学教員免許状更新講習修了者・履修者調べ

2017.1.13作成

第7グループ受講対象者935名

第8グループ受講対象者960名

勤務地等	修了者・履修者	受講科目	平成29年3月31日が修了確認期限の者	平成30年3月31日が修了確認期限の者	その他	計
県内	修了者		63	565	74	702
	履修者	必修・選択必修・選択(12h)	3	44	3	50
		必修・選択必修・選択(6h)	3	19	0	22
		必修・選択必修	11	13	1	25
		必修・選択(18h)	0	3	1	4
		必修・選択(12h)	0	1	0	1
		必修・選択(6h)	0	4	0	4
		必修	0	2	1	3
		選択必修・選択(18h)	0	4	0	4
		選択必修・選択(12h)	0	2	1	3
		選択必修・選択(6h)	1	2	0	3
		選択必修	0	2	0	2
		選択(18h)	5	3	1	9
		選択(12h)	10	3	1	14
		選択(6h)	11	2	1	14
		小計	44	104	10	158
	県内計		107	669	84	860
県外	修了者		3	4	2	9
	履修者	必修・選択必修・選択(12h)	0	1	0	1
		必修・選択必修・選択(6h)	0	1	0	1
		必修・選択必修	3	1	1	5
		必修・選択(18h)	0	0	0	0
		必修・選択(12h)	2	0	0	2
		必修・選択(6h)	1	1	0	2
		必修	1	1	0	2
		選択必修・選択(18h)	0	0	0	0
		選択必修・選択(12h)	0	1	0	1
		選択必修・選択(6h)	0	0	0	0
		選択必修	1	1	0	2
		選択(18h)	2	2	0	4
		選択(12h)	2	4	3	9
		選択(6h)	10	16	2	28
		小計	22	29	6	57
	県外計		25	33	8	66
合 計			132	702	92	926



秋 田 大 学
教員免許状更新講習推進センター
平成29年3月

〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

Phone : 018-889-3205

Fax : 018-889-3169

Email: menkyo@jimu.akita-u.ac.jp

URL : <http://menkyo.jimu.akita-u.ac.jp/>